





高浜発電所3号機 第23回施設定期検査時の安全管理の計画 29/31

主要工程		V7系列																				
RCS水位		RCS水位																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3	
			(風向、風速その他の気象条件の測定) ・可搬型気象観測装置:1個(3号炉および4号炉の合計所要数) (電源確保) ・電源車(緊急時対策所用) (表85-19-1において運転上の制限を定める) ・燃料貯油そう (表85-19-1において運転上の制限を定める) ・タンクローリー (表85-19-1において運転上の制限を定める)	・可搬型気象観測装置 ・電源車(緊急時対策所用) ・燃料貯油そう ・タンクローリー																		
			電源車(緊急時対策所用)2台動作可能 ・電源車(緊急時対策所用):1台×2 (緊急時対策あたりの合計所要数) ・空外式非常用発電装置 (3号炉および4号炉の両方が要求) (表85-19-1において運転上の制限を定める) ・燃料貯油そう (3号炉および4号炉の両方が要求) (表85-19-7において運転上の制限を定める) ・タンクローリー (3号炉および4号炉の両方が要求)	・電源車(緊急時対策所用) ・空外式非常用発電装置 ・燃料貯油そう ・タンクローリー																		
第85条(表85-19-1) 代替電源設備からの発電 (緊急時対策用)		モード3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	(1) 緊急時対策用空気浄化系1系統1系統とは、緊急時対策用可搬型空気浄化ファン2台および緊急時対策用可搬型空気浄化フィルタユニット2基の動作可能 (2) 空気供給装置の所要数が動作可能 (3) 酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が動作可能 (4) 緊急時対策用内可搬型エリアモニタ、緊急時対策用可搬型エリアモニタおよび可搬型モニタリングポストの所要数が動作可能 ・緊急時対策用可搬型空気浄化ファン:2台* ・緊急時対策用可搬型空気浄化フィルタユニット:2基* ・空気供給装置:538本以上* ・酸素濃度計:2個* ・二酸化炭素濃度計:2個* ・緊急時対策用内可搬型エリアモニタ:2個* ・緊急時対策用外可搬型エリアモニタ:1個* ・可搬型モニタリングポスト (表85-19-1において運転上の制限を定める)	・緊急時対策用可搬型空気浄化ファン ・緊急時対策用可搬型空気浄化フィルタユニット ・空気供給装置 ・酸素濃度計 ・二酸化炭素濃度計 ・緊急時対策用内可搬型エリアモニタ ・緊急時対策用外可搬型エリアモニタ ・可搬型モニタリングポスト																		
第85条(表85-19-2) 居住性の確保 (緊急時対策用)		モード3、4、5、6、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	※緊急時対策用(住居所および待機所あたりの合計所要数)																			



## 高浜発電所3号機 第23回施設定期検査時の安全管理の計画

モード	原子炉の運転状態	原子炉管部スタックボルトの状態
3	1次冷却材温度 177℃以上	全ボルト締付
4	1次冷却材温度 83℃超 177℃未満	全ボルト締付
5-1	1次冷却材温度 83℃以下(RCS 沸騰)	全ボルト締付
5-2	1次冷却材温度 83℃以下(RCS 非沸騰)	全ボルト締付
6-1	1次冷却材温度 83℃以下(冷却水 他冷却)	1本以上が締められている
6-2	1次冷却材温度 83℃以下(冷却水 他冷却)	1本以上が締められている(全ボルト取り外し)
モード外	全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態	—

※ 本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工程等の変更が生じた際においても、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。

## 計画期間中における点検の実施状況等

## 目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/34
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/34
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/34
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	12/34
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	15/34
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	18/34
[放射線管理用計測装置]	
[生体遮蔽装置]	
[換気設備]	
[その他設備]	
原子炉格納施設	23/34
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	26/34
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子力設備・タービン設備	26/34
[その他設備]	
蒸気タービン	27/34
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
補助ボイラー	31/34
その他発電用原子炉の附属施設	32/34
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
非常用電源設備	32/34
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	34/34
敷地内土木構造物	34/34
プラント総合	34/34
非常用取水設備	34/34
[取水設備]	
補機駆動用燃料設備	34/34
[燃料貯蔵設備]	

- 別紙-1：クラス1機器供用期間中検査7年計画  
 別紙-2：クラス2機器供用期間中検査10年計画  
 別紙-3：クラス3機器供用期間中検査10年計画  
 別紙-4：クラス1機器Ni基金使用部位特別検査7年計画  
 別紙-5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画  
 別紙-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画  
 別紙-7：重大事故クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備・箇所技術)	
原子炉本体 【炉心】	照射済燃料集合体	1. 外観点検	高	1F	○	22回	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による	
	照射済燃料集合体 (取出燃料)	1. 外観点検	高	1F	○	22回	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による	
	燃料集合体	1. 外観点検 (炉内配置)	高	1F	○	22回	燃料集合体内配置検査	※：炉心設計による	
	内種物 (1) 制御棒クラススタ (2) ハーナブルポイズン (3) プラキノンゲルハイス (4) 2次中性子源	1. 外観点検 (炉内配置)	高	1F	○	22回	燃料集合体内配置検査	※：炉心設計による	
原子炉本体 【原子炉容器】 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱設備】	原子炉容器	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉停止全格検査 炉物理検査	施設定検起動後	
	制御棒クラススタ案内管支持ピン	1. 開放点検	高	13M	○	22回	構造健全性検査		
	燃料移送装置	101本	1. 外観点検	高	3F	○	21回	燃料取扱装置機能検査	一部先行実施
		1式	1. 機能・性能試験 (リフトティ ングプラットフォーム)	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査 (動作・イン ターロック試験等)	
	燃料取扱クレーン		1. 機能・性能試験	高	39M~195M	○	22回	燃料取扱装置機能検査 ターロック試験等	
			2. 分解点検他	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査 ターロック試験等	
	使用済燃料ピストクレーン	1. 機能・性能試験	高	39M~195M	○	22回	燃料取扱装置機能検査 1次系換気空調設備検査 燃料取扱装置機能検査 (動作・イン ターロック試験等)	先行実施	
	新燃料エレベーター		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査 ターロック試験等	先行実施
			2. 分解点検他	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査 ターロック試験等	先行実施
	燃料取扱建屋クレーン	1. 機能・性能試験	高	39M~195M	○	22回	燃料取扱装置機能検査 ターロック試験等	先行実施	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	燃料取扱工具	1. 外観点検	高	12M	○	22回	燃料取扱装置機能検査 ターロック試験等	先行実施	
	ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料 取扱装置	1式	1. 外観点検	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査 (動作・イン ターロック試験等)	先行実施
		1台	1. 機能・性能試験	高	X※	○	21回	燃料取扱装置機能検査 ターロック試験等	※MOX新燃料受入時のみ実施 プルトニウム運転中又は施設定検停 止中
	燃料搬送トラック		1. 外観点検	高	X※	○	21回	燃料取扱装置機能検査 (動作・イン ターロック試験等)	
			1. 外観点検	高	1F	○	22回	燃料取扱装置機能検査 (動作・イン ターロック試験等)	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】 その他機器	1. 分解点検他	高・低	13M~91M	○	22回	燃料取扱装置機能検査	一部BMあり 一部プラント運転中 21回施設定検時に設置
		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】 その他機器	1. 特性試験	高	13M	○	22回	燃料取扱装置機能検査	一部BMあり 一部プラント運転中 21回施設定検時に設置
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	1次系計測制御装置	1. 特性試験	高	13M	○	22回	燃料取扱装置機能検査	一部BMあり 一部プラント運転中 21回施設定検時に設置
		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】 その他機器	1. 特性試験	高	13M	○	22回	燃料取扱装置機能検査	一部BMあり 一部プラント運転中 21回施設定検時に設置



機器又は系統名	実施機 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断設備)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	3台	高	1Y	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加	
		71台	高	78M	-	-	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (電動機)	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加	
		3台	高	6M	○	22回	1. 外観・機能点検	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加	
	大容量ポンプ (放水用)	3台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	1Y	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
			1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	低	1F	○	22回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
			1. 分解点検 (ポンプ) 1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	78M GM 13M	○ - ○	21回 12回 22回	先行実施 (集動診断: 3M)	
	B 使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ) 1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	78M GM 13M	- ○ ○	21回 13回 22回	先行実施 (集動診断: 3M)	
			1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (潤滑油入替)	低	130M	○	21回	先行実施	
			1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (潤滑油入替)	低	130M	-	21回	先行実施	
	A 使用済燃料ピットフィルタ B 使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検 1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (潤滑油入替)	低	130M 195M	- -	18回 17回 21回	1. 開放点検 1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (潤滑油入替)	先行実施 先行実施
			1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (潤滑油入替)	低	130M	-	17回	1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (潤滑油入替)	先行実施
			1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (潤滑油入替)	低	195M	-	21回	1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (潤滑油入替)	先行実施
	C 使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検 (ガスケットパッキン取替) 2. 分解点検	低	130M	-	17回	1. 開放点検 (ガスケットパッキン取替) 2. 分解点検	先行実施 18回施設定検時に設置
			1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 130M	○ ○	20回 20回	1. 次系弁検査 1. 次系弁検査 1. 次系弁検査	一部先行実施
			1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高・低	B 65M	○ ○	22回 22回	1. 次系弁検査 1. 次系弁検査	一部先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	104H~130M	○	22回	1. 分解点検他	一部先行実施	
			低	13M~130M	○	22回	1. 分解点検他	一部B/Mあり 一部先行実施	
			高	B※ 130M	○	21回	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	先行実施 (集動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	B 燃料取替用水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B※ 130M 52M 13M	- ○ ○	19回 21回 22回	1. 次系ポンプ機能検査 1. 次系ポンプ機能検査 1. 次系ポンプ機能検査	先行実施 (集動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B※ 130M	- ○	19回 22回	1. 次系ポンプ機能検査 1. 次系ポンプ機能検査	先行実施 (集動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			1. 機能・性能試験 2. 分解点検 2. 分解点検 (管側) 2. 分解点検 (潤滑油入替他)	高	B 156M	○ ○	14回 14回	1. 次系弁検査 1. 次系弁検査 1. 次系弁検査	一部先行実施 一部B/Mあり 一部先行実施
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】その他の弁	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 130M	○	22回	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	先行実施 (集動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
			1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (管側) 2. 分解点検 (潤滑油入替他)	高	B 156M	○	14回	1. 次系弁検査 1. 次系弁検査 1. 次系弁検査	一部先行実施 一部B/Mあり 一部先行実施
			1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 156M	○	14回	1. 次系弁検査 1. 次系弁検査 1. 次系弁検査	一部先行実施 一部B/Mあり 一部先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備(断技術)	
原子炉冷却系統施設 【一次冷却材の循環設備】	A 蒸気発生器	伝熱管 3, 273本	高	13M ○	○	22回	蒸気発生器伝熱管点検		
		3. 簡易点検 (スラッジランジ ング)		13M ○	○	22回			
		4. 簡易点検 (ガスケット取替 他)		13M ○	○	22回			
		他		10Y ○	○	16回			
	A 蒸気発生器給水入口管台	簡所		高	13M ○	○	22回	蒸気発生器伝熱管点検	
		伝熱管 3, 248本		高	13M ○	○	22回		
		1. 非破壊試験		13M ○	○	22回			
		2. 開放点検 (スラッジランジ ング)		13M ○	○	22回			
	B 蒸気発生器	簡所		高	13M ○	○	22回	蒸気発生器伝熱管点検	
		伝熱管 3, 263本		高	13M ○	○	22回		
		1. 非破壊試験		13M ○	○	22回			
		2. 開放点検 (スラッジランジ ング)		13M ○	○	22回			
	C 蒸気発生器給水入口管台	簡所		高	13M ○	○	22回	蒸気発生器伝熱管点検	
		伝熱管 3, 263本		高	13M ○	○	22回		
		1. 非破壊試験		13M ○	○	22回			
		2. 開放点検 (スラッジランジ ング)		13M ○	○	22回			
	C 蒸気発生器給水入口管台	簡所		高	10Y ○	○	16回	蒸気発生器伝熱管点検	
		3V-RC-055		高	13M ○	○	22回		
		3V-RC-056		高	13M ○	○	22回	加圧器安全弁機能検査	
		3V-RC-057		高	13M ○	○	22回	加圧器安全弁漏えい検査	
	加圧器速がし弁	3-PCV-454C	1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)	高	1F ○	○	22回	加圧器速がし弁機能検査	
			2. 漏えい試験		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁漏えい検査	
			3. 分解点検		26M ○	○	22回	加圧器速がし弁分解検査	
			1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		13M ○	○	22回	加圧器速がし弁機能検査	
加圧器速がし弁駆動部	3-PCV-454C	1. 分解点検	高	13M ○	○	22回	加圧器速がし弁分解検査		
		2. 簡易点検 (特性試験)		13M ○	○	22回			
		3. 分解点検		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁機能検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁漏えい検査		
加圧器速がし弁	3-PCV-455A	1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)	高	26M ○	○	21回	加圧器速がし弁分解検査		
		2. 漏えい試験		13M ○	○	22回	加圧器速がし弁漏えい検査		
		3. 分解点検		13M ○	○	22回	加圧器速がし弁分解検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁機能検査		
加圧器速がし弁	3-PCV-455B	1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)	高	1F ○	○	22回	加圧器速がし弁機能検査		
		2. 漏えい試験		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁漏えい検査		
		3. 分解点検		26M ○	○	21回	加圧器速がし弁分解検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		13M ○	○	22回	加圧器速がし弁機能検査		
加圧器速がし弁駆動部	3-PCV-455B	1. 分解点検	高	13M ○	○	22回	加圧器速がし弁分解検査		
		2. 簡易点検 (特性試験)		13M ○	○	22回			
		3. 分解点検		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁機能検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁漏えい検査		
加圧器速がし弁弁	3V-RC-054A	1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)	高	26M ○	○	21回	加圧器速がし弁分解検査		
		2. 漏えい試験		13M ○	○	22回	加圧器速がし弁漏えい検査		
		3. 分解点検		13M ○	○	22回	加圧器速がし弁分解検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁弁機能検査		
加圧器速がし弁弁駆動部	3V-RC-054A	1. 分解点検	高	156M ○	○	21回	加圧器速がし弁弁機能検査		
		2. 簡易点検 (グランドバック ク取替)		65M ○	○	21回			
		3. 分解点検		156M ○	○	21回	加圧器速がし弁弁機能検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁弁機能検査		
加圧器速がし弁弁	3V-RC-054B	1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)	高	130M ○	○	22回	加圧器速がし弁弁機能検査		
		2. 簡易点検 (グランドバック ク取替)		65M ○	○	22回			
		3. 分解点検		156M ○	○	21回	加圧器速がし弁弁機能検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁弁機能検査		
加圧器速がし弁弁	3V-RC-054C	1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)	高	130M ○	○	22回	加圧器速がし弁弁機能検査		
		2. 簡易点検 (グランドバック ク取替)		65M ○	○	22回			
		3. 分解点検		156M ○	○	21回	加圧器速がし弁弁機能検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁弁機能検査		
加圧器速がし弁弁駆動部	3V-RC-054C	1. 分解点検	高	156M ○	○	21回	加圧器速がし弁弁機能検査		
		2. 簡易点検 (グランドバック ク取替)		65M ○	○	21回			
		3. 分解点検		156M ○	○	21回	加圧器速がし弁弁機能検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含 む)		1F ○	○	22回	加圧器速がし弁弁機能検査		

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 【一次冷却材の循環設備】	A 1次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	○	22回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
		2. 分解点検 (メカニカルセンサー)						
		2. 分解点検 (フライホイール)						
		2. 分解点検 (潤滑油入替)						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
		2. 分解点検 (メカニカルセンサー)						
		2. 分解点検 (フライホイール)						
		2. 分解点検 (潤滑油入替)						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
2. 分解点検 (メカニカルセンサー)								
2. 分解点検 (フライホイール)								
2. 分解点検 (潤滑油入替)								
原子炉冷却系統施設 【主蒸気・主給水設備】	B 1次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	○	22回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
		2. 分解点検 (メカニカルセンサー)						
		2. 分解点検 (フライホイール)						
		2. 分解点検 (潤滑油入替)						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
		2. 分解点検 (メカニカルセンサー)						
		2. 分解点検 (フライホイール)						
		2. 分解点検 (潤滑油入替)						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
2. 分解点検 (メカニカルセンサー)								
2. 分解点検 (フライホイール)								
2. 分解点検 (潤滑油入替)								
原子炉冷却系統施設 【一次冷却材の循環設備】その他の弁	C 1次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	26M	-	22回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
		2. 分解点検 (メカニカルセンサー)						
		2. 分解点検 (フライホイール)						
		2. 分解点検 (潤滑油入替)						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
		2. 分解点検 (メカニカルセンサー)						
		2. 分解点検 (フライホイール)						
		2. 分解点検 (潤滑油入替)						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検 (ポンプ)						
		2. 分解点検 (電動機)						
2. 分解点検 (メカニカルセンサー)								
2. 分解点検 (フライホイール)								
2. 分解点検 (潤滑油入替)								
原子炉冷却系統施設 【一次冷却材の循環設備】その他の弁	加圧器	1. 開放点検	高	39M	○	20回		
		2. 簡易点検 (マンホール・ルガスケット取替)						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 開放点検						
		2. 簡易点検 (マンホール・ルガスケット取替)						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 開放点検						
2. 簡易点検 (マンホール・ルガスケット取替)								
原子炉冷却系統施設 【一次冷却材の循環設備】その他の弁	原子炉冷却系統施設【一次冷却材の循環設備】その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	-	22回	1次系弁検査	
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
2. 分解点検								
原子炉冷却系統施設 【主蒸気・主給水設備】	原子炉冷却系統施設【一次冷却材の循環設備】その他の機器	1. 機能・性能試験	高	IF	○	22回	主蒸気安全弁機能検査	
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
原子炉冷却系統施設 【主蒸気・主給水設備】	主蒸気安全弁	1. 機能・性能試験	高	B	-	21回	主蒸気安全弁機能検査	
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						
		1. 機能・性能試験						
		2. 簡えい試験						
		3. 分解点検						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)		
原子炉冷却系統施設 【主蒸気・主給水設備】	主蒸気速がし弁	3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630	高	1F	○	22回	主蒸気速がし弁機能検査 最終ヒートポンプ熱輸送設備動作動 検査 主蒸気速がし弁漏えい検査	最終ヒートポンプ熱輸送設備動作動 検査は21回施設定期検査より追加		
		主蒸気速がし弁駆動部	3-PCV-3610 3-PCV-3620 3-PCV-3630	高	B	○	22回			
			3-MS-533A 3-MS-533B 3-MS-533C	高	13M	○	22回			
			3-MS-533A 3-MS-533B 3-MS-533C	高	13M	○	22回			
		主蒸気隔離弁	3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C	高	1F	○	22回		主蒸気隔離弁機能検査	
			2. 分解点検	3V-MS-533A 3V-MS-533B	高	39M	○	20回	2次系弁検査	
	3V-MS-533A 3V-MS-533B			高	39M	○	22回	2次系弁検査		
	1. 分解点検		3V-MS-533A 3V-MS-533B	高	39M	○	20回	2次系弁検査		
		3V-MS-533A 3V-MS-533B	高	39M	○	22回	2次系弁検査			
	原子炉冷却系統施設【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】	原子炉冷却系統施設【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	B	○	22回	2次系弁検査		
			2. 分解点検	高	52M~130M	○	22回	2次系弁検査		
			3. 簡易点検 (グラランドヘッドハッキング取扱)	高	65M	○	21回			
		原子炉冷却系統施設【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】	1. 機能・性能試験	高	B	○	22回	2次系弁検査		
			2. 分解点検	高	52M~156M	○	22回			
			3. 簡易点検 (特性試験)	高	26M~52M	○	22回			
	原子炉冷却系統施設【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】	原子炉冷却系統施設【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】 【主蒸気・主給水設備】	1. 分解点検	高	13M~260M	○	22回			
2. 分解点検			高	130M~195M	○	22回				
1. 分解点検			高	B※	○	22回	1次系ポンプ機能検査 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水水系ポンプ分解検査	一部BMあり (振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせ実施 その他原子炉注水水系ポンプ分解 検査は21回施設定期検査より追加		
B 余熱除去ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	78M	○	22回				
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	○	21回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	22回				
A 余熱除去ポンプ・電動機	A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	○	22回	1次系ポンプ機能検査 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水水系ポンプ分解検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせ実施 その他原子炉注水水系ポンプ分解 検査は21回施設定期検査より追加		
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	22回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M	○	21回				
	B 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	130M	○	22回				
		2. 分解点検 (電動機)	高	13M	○	22回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M	○	18回				
A 余熱除去冷却器	A 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	○	18回	1次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験	高	130M	○	18回				
		1. 開放点検	高	130M	○	17回				
	B 余熱除去冷却器	2. 非破壊試験	高	130M	○	17回	1次系熱交換器検査			
		1. 開放点検	高	130M	○	17回				
		2. 非破壊試験	高	130M	○	17回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備(断設備)		
原子炉冷却系統施設 【余熱除去設備】	低圧注入系主要弁	3V-R1-041A	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-R1-041B	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3-PCV-601	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3-PCV-611	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-193A	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-S1-193B	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-202A	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-202B	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-202C	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-203A	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-203B	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-203C	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-208A	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-208B	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-209A	高	130M	—	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-S1-209B	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		1式		1. 分解点検	高	156M	—	22回		

低圧注入系主要弁駆動部

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 【余熱除去設備】	原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】モ1式 の他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(グラウンドハツキン取替)	高	B 52M~130M 52M~130M	○ ○ ○	22回 22回 22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査		
	原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】モ1式 の他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験)	高	B 52M~156M 13M~52M 22回	— — ○	22回 22回 22回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査		
原子炉冷却系統施設 【非常用炉心冷却設備】	原子炉冷却系統施設【余熱除去設備】モ1式 の他AM (代替再循環) 機器	1. 分解点検他	高	130M~260M	○	22回	12回施設定期時に設置		
	高圧及び低圧注入系 【余熱除去設備 (低圧注入機能) を含む】	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等を含む)	高	1F 6M	○ ○	22回 22回	非常用炉心冷却系機能検査 運転中の主要機器機能検査	プラント運転中 【対象設備】 ・A、B、C充てん/高圧注入ポンプ ・A、B余熱除去ポンプ	
	その他原子炉注水	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	その他原子炉注水系統機能検査	【対象設備】 ・A高圧注入系 ・B高圧注入系 (自己冷却) ・C低圧注入系 (海水による電動機冷却) ・A低圧注入系 ・B低圧注入系 (海水による電動機冷却) 21回施設定期検査より追加	
	高圧注入系主要弁	3-LCV-121D	1. 分解点検	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加
		3-LCV-121E	1. 分解点検	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-023A	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-023B	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-042A	1. 分解点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-012B	1. 分解点検	高	130M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加
		3V-SI-099A	1. 分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加
3V-SI-099B		1. 分解点検	高	260M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加	
3V-SI-048A	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
3V-SI-048B	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
3V-SI-018C	1. 分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧注入系主要弁	3V-SI-106A	高	260M	-	-	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定検時に設置		
		3V-SI-106B	高	260M	-	-	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定検時に設置		
		3V-SI-106C	高	260M	-	-	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	19回施設定検時に設置		
		3V-SI-087A	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-SI-087B	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-SI-087C	高	260M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		3V-SI-088	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		1式	高	158M	-	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査			
		1.機能・性能試験 (弁・弁駆動部を含む)	高	1F	○	22回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	その他原子炉注水系統機能検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-SI-132A	高	130M	-	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-SI-132B	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-SI-132C	高	130M	-	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-SI-134A	高	130M	-	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-SI-134B	高	130M	-	22回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
		3V-SI-134C	高	130M	-	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加		
3V-SI-136A	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加				
3V-SI-136B	高	130M	-	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加				
3V-SI-136C	高	130M	-	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は21回施設定期検査より追加				
高圧注入系主要弁駆動部	1式	1.分解点検	高	158M	○	20回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査	20回施設定検時に設置		
		1.開放点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査			
		1.開放点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査			
		1.開放点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査			
		1.開放点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査			
		1.外観点検	高	1F	○	22回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査			
		1.外観点検	高	10Y	○	-	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査			
		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査	21回施設定検時に設置		
		2.分解点検 (ポンプ)	高	130M	-	-	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査	21回施設定期検査より追加		
		2.分解点検 (電動機)	高	78M	-	-	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査			
		3.簡易点検 (潤滑油注入替他)	高	13M	○	22回	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査			
		燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ・電動機	1式	1.分解点検	高	158M	○	20回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査	
				1.開放点検	高	130M	-	21回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査	
				1.開放点検	高	130M	-	21回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査	
				1.開放点検	高	130M	-	21回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査	
1.開放点検	高			130M	-	21回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査			
1.外観点検	高			130M	-	17回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査			
1.外観点検	高			1F	○	22回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査			
1.外観点検	高			10Y	○	-	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査			
1.機能・性能試験	高			1F	○	22回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査	21回施設定検時に設置		
2.分解点検 (ポンプ)	高			130M	-	-	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査	21回施設定期検査より追加		
2.分解点検 (電動機)	高			78M	-	-	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査			
3.簡易点検 (潤滑油注入替他)	高			13M	○	22回	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ分解検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する (設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 【非常用炉心冷却設備】	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	22回	原子炉格納容器安全系機能検査 その他原子炉注水系機能検査 21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査時に設置 その他原子炉注水系機能検査は 21回施設定期検査より追加	
		1.機能・性能試験	高	B	—	—	—	21回施設定期検査時に設置 21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査時に設置 21回施設定期検査より追加
		2.分解点検 (ポンプ)	高・低	130M	—	—	—	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査時に設置 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は 21回施設定期検査より追加
		2.分解点検 (電動機)	高・低	78M	—	—	—		
		3.簡易点検 (潤滑油入替他)	高・低	13M	○	22回	22回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	
		1.機能・性能試験	高・低	B	○	22回	22回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	
		2.分解点検	高	52M~260M	○	22回	22回		
		1.機能・性能試験	高	B	—	—	—		
		2.分解点検	高	52M~156M	—	—	—		
		3.簡易点検 (特性試験他)	高	13M~104M	○	22回	22回		
原子炉冷却系統施設 【化学体積制御設備】	原子炉冷却系統施設【非常用炉心冷却設備】 A 売てムル/高圧注入ポンプ・電動機 B 売てムル/高圧注入ポンプ・電動機 C 売てムル/高圧注入ポンプ・電動機	1.分解点検他	高	13M~260M	○	22回	22回		
		1.分解点検他	低	26M~260M	○	22回	22回		一部BMあり 一部先行実施
		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	22回	化学体積制御設備検査 施設定期検査後	
		1.分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	—	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	(駆動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加
		1.分解点検 (電動機)	高	104M	—	—	21回		(駆動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加
		2.簡易点検 (潤滑油入替他)	高	26M	○	22回	22回		
		1.分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	—	22回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	(駆動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加
		1.分解点検 (電動機)	高	104M	—	—	20回		(駆動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加
		2.簡易点検 (潤滑油入替他)	高	26M	○	22回	22回		(駆動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加
		1.分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	—	21回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	(駆動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加
原子炉冷却系統施設 【化学体積制御設備】	体積制御タンク 冷却材フィルタ A 冷却材脱脂器入口フィルタ B 冷却材脱脂器入口フィルタ 非再生冷却器	1.分解点検 (電動機)	高	104M	○	18回			
		2.簡易点検 (潤滑油入替他)	高	26M	○	22回			
		1.開放点検	高	130M	—	—	20回		
		1.開放点検	高	130M	—	—	21回		
		1.開放点検	高	130M	—	—	21回		先行実施
		1.開放点検 (管側)	高	130M	—	—	20回		先行実施
		1.開放点検 (胴側)	高	195M	—	—	19回		
		1.開放点検	高	130M	—	—	17回	1次系熱交換器検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査より追加
		1.分解点検	高	130M	—	—	18回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査より追加
		1.分解点検	高	130M	—	—	18回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査より追加
原子炉冷却系統施設 【化学体積制御設備】	3V-CS-218 3V-CS-219 3V-CS-233 3V-CS-234	1.分解点検	高	130M	—	21回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査より追加	
		1.分解点検	高	130M	—	21回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 検査は21回施設定期検査より追加	21回施設定期検査より追加	



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 【化学体積制御設備】	原子炉冷却系統施設【化学体積制御設備】 1. 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 13M~260M	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
	原子炉冷却系統施設【化学体積制御設備】 2. 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 13M~156M	○	22回		
	原子炉冷却系統施設【化学体積制御設備】 3. 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験他)	高・低	B※ 13M~260M	○	22回		一部先行実施
原子炉冷却系統施設 【蒸気タービン用補給設備】	原子炉冷却系統施設【化学体積制御設備】 1. 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	低	B※ 13M~234M	○	22回		一部先行実施
	補給本系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	IF	○	22回	補給本系機能検査	
	A 電動補給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 1. 分解点検 (電動機)	高	130M 104M	-	15回 21回	補給本系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M)
	B 電動補給水ポンプ・電動機	1. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	22回		
	タービン動補給水ポンプ	1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 104M	-	16回 22回	補給本系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M)
	原子炉冷却系統施設【蒸気タービンの附属設備】 1. 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B 52M	○	22回	2次系弁検査 補給本系ポンプ分解検査	駆動部のタービン含む
	原子炉冷却系統施設【蒸気タービンの附属設備】 2. 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	B 52M~130M	○	22回	2次系弁検査 2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設【蒸気タービンの附属設備】 3. 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高	B 52M~156M	○	22回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設【蒸気タービンの附属設備】 4. 1式	1. 分解点検 2. 簡易点検	高	B※ 26M~260M	○	22回		一部21回施設定検時に設置
	原子炉補給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部含む)	高	B※ 65M~130M	○	22回	原子炉補給水ポンプ機能検査	
	A 原子炉補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 104M	-	21回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	B 原子炉補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	B※ 26M	○	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	C 原子炉補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 104M	-	22回 22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 12M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	D 原子炉補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	B※ 26M	-	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
	E 原子炉補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 104M	-	21回 21回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断投符)	
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却水設備】	大容量ポンプ	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	22回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加	
		2. 分解点検		10Y	—	—	—		
		1. 開放点検		13M	○	22回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		13M	○	22回	—		
		3. 補えい試験		13M	○	22回	—		
	A原子炉補機冷却水冷却器	4. 機能・性能試験	X※	高	X※	—	21回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果に有意な信号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検	X※		—	21回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事構造・強度事業者検査		
		1. 開放点検	13M		○	22回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	13M		○	22回	—		
		3. 補えい試験	13M		○	22回	—		
	B原子炉補機冷却水冷却器	4. 機能・性能試験	X※	高	X※	—	22回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果に有意な信号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検	X※		—	22回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事構造・強度事業者検査		
		1. 開放点検	13M		○	22回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	13M		○	22回	—		
		3. 補えい試験	13M		○	22回	—		
	C原子炉補機冷却水冷却器	4. 機能・性能試験	X※	高	X※	—	22回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果に有意な信号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検	X※		—	22回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事構造・強度事業者検査		
		1. 開放点検	13M		○	22回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	13M		○	22回	—		
		3. 補えい試験	13M		○	22回	—		
D原子炉補機冷却水冷却器	4. 機能・性能試験	X※	高	X※	—	22回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果に有意な信号指示が認められた場合に実施	
	5. 開放点検	X※		—	22回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事構造・強度事業者検査			
	1. 開放点検	13M		○	22回	1次系熱交換器検査			
	2. 非破壊試験	13M		○	22回	—			
	3. 補えい試験	13M		○	22回	—			
原子炉補機冷却水サージタンク	4. 機能・性能試験	X※	高	X※	—	21回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果に有意な信号指示が認められた場合に実施	
	5. 開放点検	X※		—	21回	原子炉補機冷却水冷却器広熱管補修工事構造・強度事業者検査			
	1. 開放点検	130M		—	21回	1次系真空破壊弁検査			
	1. 分解点検	130M		—	17回	可搬型重大事故等対処設備機能検査			
	1. 機能・性能試験	高		1F	○	22回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査		21回施設定期検査より追加 一部先行実施
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】その他の弁	2. 分解点検	高・低	B	○	22回	—	—		
	1. 機能・性能試験	高	130M	○	22回	1次系弁検査			
	2. 分解点検	高	B	—	22回	1次系弁検査			
	1. 機能・性能試験	高	65M~156M	○	22回	—			
	3. 揺動点検 (特許試験他)	高	65M	○	22回	—			
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】その他の弁駆動部	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	22回	—	—		
	1. 分解点検他	低	65M~130M	○	22回	—	一部先行実施 一部DMあり		
	1. 分解点検他								

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水系設備】	原子炉補機冷却海水系 A 海水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 (弁・弁駆動部含む)	高	1F	○	22回	原子炉補機弁系機能検査	
		1.機能・性能試験	高	B※	-	21回	2次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 3M (対象: 電動機))
		2.分解点検 (ポンプ)		52M	-	21回	2次系ポンプ分解検査	
		2.分解点検 (電動機)		104M	-	21回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		3.簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	21回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		1.機能・性能試験	高	B※	○	21回	2次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 3M (対象: 電動機))
		2.分解点検 (ポンプ)		52M	○	21回	2次系ポンプ分解検査	
		3.簡易点検 (潤滑油入替)		104M	○	22回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		1.機能・性能試験	高	B※	-	22回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M (対象: 電動機))
		2.分解点検 (電動機)		52M	-	21回	2次系ポンプ分解検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
原子炉冷却系統施設 【原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置】	原子炉補機冷却海水系 B 海水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	26M	-	22回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2.簡易点検	高	117M	-	21回	2次系弁検査	
		1.機能・性能試験	高	13M	○	22回		
		2.分解点検	高	B	-	21回		
		1.機能・性能試験	高	117M	-	21回		
		2.分解点検	高	13M~195M	○	22回		
		1.分解点検他	低	13M~195M	○	22回		一連BMあり
		1.機能・性能試験	高	1F	○	22回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
		2.特性試験		13M	○	22回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
		計測制御系統施設 【制御材】	照付済制御棒クラスター ※ 1式 照付済バーナブルボイスン ※ 1式 照付済プレンジングデバイス ※ 1式 照付済二次中性子源 計48本	1.外観点検	高	1F	○	22回
1.外観点検	高			1F	○	22回	制御棒クラスター検査	※: 炉心設計による
1.外観点検	高			1F	○	22回	制御棒クラスター検査	※: 炉心設計による
1.機能・性能試験	高			1F	○	22回	制御棒クラスター動作検査	
1.機能・性能試験	高			B※	-	21回		(振動診断: 3M) ※劣電機または電動機の分解点検に合わせて実施
2.分解点検 (駆動機)				78M	-	13回		
3.簡易点検 (潤滑油入替他)				CM	-	13回		
1.機能・性能試験	高			13M	○	22回		
2.分解点検 (駆動機)	高			B※	-	21回		(振動診断: 3M) ※劣電機または電動機の分解点検に合わせて実施
3.簡易点検 (潤滑油入替他)	高			78M	-	21回		
計測制御系統施設 【工学的安全施設等の作動信号】	A TWS 線路設備	1.機能・性能試験	高	13M	○	22回	重大事故時安全停止回路機能検査	21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加
		2.特性試験	高	13M	○	22回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)		
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	Aほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	—	22回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施		
		2.分解点検 (ポンプ)		78M	—	22回	ほう酸ポンプ分解検査			
		3.簡易点検 (潤滑油入替他)		78M	—	22回				
		Bほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	○	22回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (ポンプ)		78M	○	21回	ほう酸ポンプ分解検査		
			3.簡易点検 (潤滑油入替他)		78M	—	21回			
		Cほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B※	—	22回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (ポンプ)		78M	—	21回	ほう酸ポンプ分解検査		
			3.簡易点検 (潤滑油入替他)		78M	—	21回			
		A 1次系補給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	—	22回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (ポンプ)		78M	—	21回			
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		78M	—	21回			
			B 1次系補給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施
				2.分解点検 (ポンプ)		78M	○	20回		
				3.簡易点検 (潤滑油入替)		78M	○	20回		
ほう酸タンク	Aほう酸タンク		1.開放点検	高	26M	○	21回	1次系真空破壊弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (電動機)		26M	—	21回			
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		26M	—	21回			
		Bほう酸タンク	1.開放点検	高	195M	○	8回	1次系真空破壊弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (電動機)		195M	—	8回			
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		195M	—	8回			
		Aほう酸タンクアトモス弁	1.開放点検	高	130M	—	14回	1次系真空破壊弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (電動機)		130M	—	14回			
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		130M	—	14回			
		Bほう酸タンクバキュームリリーフ弁	1.開放点検	高	130M	—	21回	1次系真空破壊弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (電動機)		130M	—	21回			
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		130M	—	21回			
		Bほう酸タンクアトモス弁	1.開放点検	高	130M	—	19回	1次系真空破壊弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (電動機)		130M	—	19回			
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		130M	—	19回			
Bほう酸タンクバキュームリリーフ弁	1.開放点検	高	130M	—	19回	1次系真空破壊弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施			
	2.分解点検 (電動機)		130M	—	19回					
	3.簡易点検 (潤滑油入替)		130M	—	19回					
1次系純水タンク	1.開放点検	低	195M	—	14回	1次系真空破壊弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施			
	2.分解点検 (電動機)		195M	—	14回					
	3.簡易点検 (潤滑油入替)		195M	—	14回					
1次系純水タンクバキュームリリーフ弁	1.開放点検	低	130M	—	21回	1次系真空破壊弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施			
	2.分解点検 (電動機)		130M	—	21回					
	3.簡易点検 (潤滑油入替)		130M	—	21回					
ほう酸フィルタ	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1.開放点検	高・低	B	○	20回	1次系弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施		
		2.分解点検 (電動機)		B	—	20回	1次系安全弁検査			
		3.簡易点検 (潤滑油入替)		B	—	20回	1次系弁検査			
		計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1.機能・性能試験	高	130M	○	22回	1次系弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (電動機)		130M	—	22回	1次系安全弁検査		
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		130M	—	22回	1次系弁検査		
		計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1.機能・性能試験	高	B	—	19回	1次系弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (電動機)		B	—	19回	1次系安全弁検査		
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		B	—	19回	1次系弁検査		
		計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1.機能・性能試験	高	91M~221M	○	22回	1次系弁検査	(振動診断：6M (対象：ポン プ)) ※ポンプまたは電動機の分解点 検に合わせて実施	
			2.分解点検 (電動機)		91M~221M	—	22回	1次系安全弁検査		
			3.簡易点検 (潤滑油入替)		91M~221M	—	22回	1次系弁検査		
		ほう酸再生再熱器	ほう酸再生再熱器	1.開放点検 (管側)	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査	一部BMあり 一部先行実施
				2.非破壊試験 (管側)		130M	—	18回		
				3.簡易点検 (潤滑油入替)		130M	—	18回		
ほう酸再生再熱器	1.開放点検 (管側)			高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査	先行実施	
	2.非破壊試験 (管側)				130M	—	18回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)				130M	—	18回			
ほう酸再生再熱器	1.開放点検 (管側)			高	195M	—	22回	1次系熱交換器検査	先行実施	
	2.非破壊試験 (管側)				195M	—	22回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)				195M	—	22回			
ほう酸再生再熱器	1.開放点検 (管側)			高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査	先行実施	
	2.非破壊試験 (管側)				130M	—	18回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替)				130M	—	18回			
計測制御系統施設 [ほう酸再生設備] その他の弁	1.機能・性能試験			高・低	B	—	22回	1次系熱交換器検査	一部先行実施	
	2.分解点検 (電動機)				B	—	22回	1次系安全弁検査		
	3.簡易点検 (潤滑油入替)				B	—	22回	1次系弁検査		
計測制御系統施設 [ほう酸再生設備] その他の弁	1.機能・性能試験	高	104M~130M	○	22回	1次系弁検査	一部BMあり 一部先行実施			
	2.分解点検 (電動機)		104M~130M	—	22回	1次系安全弁検査				
	3.簡易点検 (潤滑油入替)		104M~130M	—	22回	1次系弁検査				
計測制御系統施設 [ほう酸再生設備] その他の弁	1.機能・性能試験	低	104M~156M	○	22回	1次系弁検査	一部BMあり 一部先行実施			
	2.分解点検 (電動機)		104M~156M	—	22回	1次系安全弁検査				
	3.簡易点検 (潤滑油入替)		104M~156M	—	22回	1次系弁検査				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)	
計測制御系統施設 【制御用空気設備】	格納容器外側制御用空気圧縮機	2台	高	1F	○	22回	制御用空気圧縮系機能検査		
	A 格納容器外側制御用空気圧縮機・電動機		1.機能・性能試験 (圧縮機、電動機含む)	高	26M	○	21回		(振動診断：3M (対象：電動機))
			1.分解点検 (圧縮機)	高	26M	○	13回		
	B 格納容器外側制御用空気圧縮機・電動機		2.簡易点検 (Vベルト調整)	高	26M	○	22回		
			2.簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	22回		(振動診断：3M (対象：電動機))
			1.分解点検 (電動機)	高	26M	○	22回		
			1.分解点検 (Vベルト調整)	高	26M	○	14回		
			2.簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	22回		
			2.簡易点検 (Vベルト調整)	高	13M	○	22回		
	格納容器内側制御用空気圧縮機	2台	1.機能・性能試験 (圧縮機、電動機含む)	高	1F	○	22回	制御用空気圧縮系機能検査	
			1.分解点検 (圧縮機)	高	26M	○	21回		(振動診断：3M (対象：電動機))
	A 格納容器内側制御用空気圧縮機		2.簡易点検 (Vベルト調整)	高	26M	○	22回		
2.簡易点検 (潤滑油入替他)			高	13M	○	22回			
B 格納容器内側制御用空気圧縮機・電動機		1.分解点検 (圧縮機)	高	26M	○	22回			
		1.分解点検 (電動機)	高	26M	○	22回			
		2.簡易点検 (Vベルト調整)	高	26M	○	21回			
		2.簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	22回		(振動診断：3M (対象：電動機))	
計測制御系統施設【制御用空気設備】その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	22回	1次系安全弁検査		
		1.分解点検	高	130M~260M	○	22回	1次系逆止弁検査		
計測制御系統施設【制御用空気設備】その他の機器	1式	1.機能・性能試験	高	150M	○	21回			
		1.分解点検	高	13M~260M	○	22回			
計測制御系統施設 【その他設備】	34回路	1.機能・性能試験	高	13M~260M	○	22回			
		1.分解点検	高	13M~195M	○	22回	安全保護系機能検査	一部BDMあり	
計測制御系統施設 【その他設備】	26回路	1.機能・性能試験	高・低	1F	○	22回	安全保護系設定確認機能検査		
		1.特性試験	高・低	13M	○	22回		一部21回施設定検時に設置	
事故時監視計器	4個	1.特性試験	高	13M	○	22回	プラント状態監視設備機能検査		
		圧力監視計器	高	13M	○	22回			
事故時監視計器	20個	1.特性試験	高	1F	○	22回	プラント状態監視設備機能検査		
		水位監視計器	高	130M	○	21回	1次系破砕機検査		
事故時監視計器	13個	1.特性試験	高	13M	○	22回			
		流量監視計器	高	13M	○	22回			
事故時監視計器	8個	1.特性試験	高	1F	○	22回			
		温度監視計器	高	1F	○	22回			
事故時監視計器	1台	1.特性試験	高・低	13M	○	22回	計測制御系統監視機能検査		
		格納容器ガス試料採取系統設備	高・低	13M	○	22回			
計測制御系統施設	7式	1.特性試験	高	13M	○	22回			
		1.分解点検	高	13M	○	22回			
計測制御系統施設	1式	2.機能・性能試験	高	1F	○	22回			
		1.特性試験	高・低	13M	○	22回			
計測制御系統施設	1式	1.特性試験	高・低	13M	○	22回			
		1.分解点検	高・低	13M	○	22回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術	
計測制御系統施設 【その他設備】	炉外計測装置 中性子検測装置計測装置 2台 中間領域計測装置 2台 炉内領域計測装置 8台 炉内核計測装置 1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験 3. 簡易点検 (特性試験)	高	13M	○	22回	核計測設備検査		
	炉内計装用シンブルチューブ	1. 非破壊試験	高	52M	-	20回	炉内計装用シンブルチューブ体積検査		
	制御棒位置指示装置	1. 特性試験	高	13M	○	22回	制御棒位置指示装置設置点検		
	1. パーミットロジック回路 原子炉保護系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	安全保護系機能検査		
	2. パーミットロジック回路 安全防衛系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	安全保護系機能検査		
	総合インターロック 1. ヒートリントリップによる原子炉、発電機トリップ回路 2. 発電機トリップによる原子炉、タービントリップ回路 3. 原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	総合インターロック検査		
	原子炉の停止制御回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査		
	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置健全性確認検査	21回施設発生時時に設置 21回施設定期検査より追加	
	計測制御系統施設【その他設備】 弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 78M~260M	○	21回 22回	1 一次系弁検査 1 二次系弁検査 1 二次系弁検査		
	計測制御系統施設【その他設備】 弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高・低	B 65M~156M	○	22回	1 二次系弁検査 1 二次系弁検査 1 二次系弁検査		
	計測制御系統施設【その他設備】 器	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高	13M~208M	○	22回	1 分解点検 1 分解点検 1 分解点検	保全の有効性評価結果No. 1の反映 保全の有効性評価結果No. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7の反映	
	放射性廃棄物の産業施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	ガス圧縮機	1. 機能・性能試験	低	12M~260M	○	22回	1 機能・性能試験	
		Aガス圧縮機・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	22回	1 機能・性能試験	
		Bガス圧縮機・電動機	1. 機能・性能試験	低	52M	-	21回	1 機能・性能試験	(振動診断: 4M)
		水素再結合装置	1. 機能・性能試験	低	52M	-	21回	1 機能・性能試験	(振動診断: 4M)
A水素再結合装置		1. 機能・性能試験	低	1F	○	22回	1 機能・性能試験		
B水素再結合装置		1. 機能・性能試験	低	130M	-	22回	1 機能・性能試験		
1次系破砕板		1. 機能・性能試験	低	130M	-	21回	1 機能・性能試験		
ほう酸回収装置		1. 機能・性能試験	高	130M	-	22回	1 機能・性能試験		
ほう酸回収装置 (弁、機器)		1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (ガスケットパッキン取替)	低	1F 130M	○	22回 17回	1 機能・性能試験 2. 簡易点検 (ガスケットパッキン取替)	先行実施 先行実施	
廃液蒸発装置		1. 機能・性能試験	低	1F	○	22回	1 機能・性能試験		
廃液蒸発装置 (弁、機器)		1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (ガスケットパッキン取替)	低	65M~156M 130M	○	22回 22回	1 機能・性能試験 2. 簡易点検 (ガスケットパッキン取替)	先行実施 先行実施	
A補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機)	低	B※ GM 91M	-	21回 1回 22回	1 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機)	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
B補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機)	低	B※ GM 78M 39M	-	21回 8回 21回	1 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 簡易点検 (電動機)	先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)							
放射性廃棄物の処理施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	-	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施							
		2.分解点検 (ポンプ)													
		2.分解点検 (電動機)													
		3.簡易点検 (潤滑油入替)													
		B ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機							1.機能・性能試験	低	B※ CBM	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
									2.分解点検 (ポンプ)						
									2.分解点検 (電動機)						
		A 補助建屋サンポンプ・電動機							1.機能・性能試験	低	B※ CBM	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
									2.分解点検 (ポンプ)						
									2.分解点検 (電動機)						
		B 補助建屋サンポンプ・電動機							1.機能・性能試験	低	B※ CBM	-	16回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
									2.分解点検 (ポンプ)						
	2.分解点検 (電動機)														
	A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	-	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施							
		2.分解点検 (ポンプ)													
		2.分解点検 (電動機)													
	B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	-	17回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施							
		2.分解点検 (ポンプ)													
		2.分解点検 (電動機)													
	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	○	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施							
		2.分解点検 (ポンプ)													
		2.分解点検 (電動機)													
	B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	-	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施							
		2.分解点検 (ポンプ)													
2.分解点検 (電動機)															
A 格納容器サンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	○	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施								
	2.分解点検 (ポンプ)														
	2.分解点検 (電動機)														
B 格納容器サンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	-	22回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施								
	2.分解点検 (ポンプ)														
	2.分解点検 (電動機)														
A 廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施								
	2.分解点検 (ポンプ)														
	2.分解点検 (電動機)														
B 廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	-	5回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施								
	2.分解点検 (ポンプ)														
	2.分解点検 (電動機)														
C 廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	○	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施								
	2.分解点検 (ポンプ)														
	2.分解点検 (電動機)														
31A 洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	-	16回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施								
	2.分解点検 (ポンプ)														
	2.分解点検 (電動機)														
31B 洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※ CBM	○	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施								
	2.分解点検 (ポンプ)														
	2.分解点検 (電動機)														

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する (設備診断技術)			
放射線廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	34A 洗浄排水モニタポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	○	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-	8回					
		2. 分解点検 (電動機)		15M	○	14回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	-	21回					
		34B 洗浄排水モニタポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B※	-		15回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
				2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-		4回		
				2. 分解点検 (電動機)		15M	-		15回		
				3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	-		21回		
		34A 廃液蒸留水モニタタンクポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B※	-		15回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
				2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-		7回		
				2. 分解点検 (電動機)		208M	-		15回		
				3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	-		21回		
	34B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	-	16回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-	8回					
		2. 分解点検 (電動機)		152M	-	16回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	-	21回					
	34A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	-	18回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-	7回					
		2. 分解点検 (電動機)		182M	-	18回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	-	22回					
	34B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	-	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：4M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施			
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-	3回					
		2. 分解点検 (電動機)		208M	-	14回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	-	21回					
3. 廃液貯蔵タンク循環ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	-	21回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施				
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	-	21回						
	2. 分解点検 (電動機)		260M	-	21回						
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		91M	-	21回						
液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい防止に係る警報機能	1. 特性試験	低	13M	○	25回※	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	※アス固化定検回次、今回は25回定検				
	2. 機能・性能試験		1F	○	25回※	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査					
	1. 特性検査		13M	○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の機能検査					
	1. 機能・性能試験		1F	○	22回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の機能検査					
流体状の放射線廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置 (3-4 酸液ドレンタンク水位伝送器)	1. 機能・性能試験	低	B	-	18回※	1次系安全弁検査	先行実施 ※アス固化定検回次、今回は25回定検 保全の有効性評価結果No. 8の反映				
	2. 分解点検		13M~260M	○	25回※	1次系安全弁検査					
	3. 簡易点検 (グラウンドバッキング取替)		13M~260M	○	25回※						
	1. 機能・性能試験		B※	-	21回	固体廃棄物処理系設備検査					
アスファルト固化設備	1. 機能・性能試験	低	CBM	-	7回	固体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (集動診断：6M (対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施				
	2. 分解点検 (ポンプ)		39M	-	21回						
	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	21回						
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		39M	○	22回	1次系安全弁検査					
アスファルト固化設備 (弁、機器)	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	22回	1次系安全弁検査	一部先行実施				
	2. 分解点検		130M~260M	○	22回	1次系安全弁検査					
	2. 分解点検		130M~260M	○	22回	1次系安全弁検査					
	1. 機能・性能試験		104M~150M	○	22回	1次系安全弁検査					
使用済潤滑スラックスポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	12M~260M	○	22回	1次系安全弁検査	一部先行実施 一部BMあり 保全の有効性評価結果No. 9、10の反映				
	2. 分解点検		104M~150M	○	22回	1次系安全弁検査					
	1. 分解点検他		12M~260M	○	22回	1次系安全弁検査					
	1. 分解点検他		12M~260M	○	22回	1次系安全弁検査					



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する (設備診断技術)
放射性医薬物の産生施設 【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は放射性廃棄物処理設備からの液体状の放射性医薬物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】 放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	放射性医薬物の漏えいの検出装置一式	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回※	液体状の放射性医薬物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 (最終の流入サンプ)	※アス固化定検回次、今回は26回定検
	格納容器内高圧レンジエアモニタ (3R-21)	1.特性試験 1.機能・性能試験 2.特性試験	高	13M	○	22回	エアモニタ機能検査	21回施設定期検査より追加
補助建屋排気筒ガスモニタ (3R-26)	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
廃棄物処理設備排水モニタ (3R-35)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
格納容器しゃんかいモニタ (3R-40)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
格納容器ガスモニタ (3R-41)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
復水器空気抽出器ガスモニタ (3R-43)	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
安全補機室排気ガスモニタ (3R-46)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部施設定検起動後	
一般補機室排気ガスモニタ (3R-48A)	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
一般補機室排気ガスモニタ (3R-48B)	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
使用済燃料ピレット排気ガスモニタ (3R-49)	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
建屋内漏洩検知ガスモニタB (3R-50A)	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
建屋内漏洩検知ガスモニタ (3R-55)	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部施設定検起動後	
原子炉補機室冷却水モニタ (3R-56)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
補助蒸気復水モニタ (3R-57)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
タービンサンプ水モニタ (3R-58)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
1次系建屋基礎冷却水モニタ (3R-59)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
A高感度型主蒸気管モニタ (3R-65)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部施設定検起動後	
B高感度型主蒸気管モニタ (3R-66)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部施設定検起動後	
C高感度型主蒸気管モニタ (3R-67)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	一部施設定検起動後	
1次冷却炉連続モニタ (3R-70)	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
ほう酸蒸留水モニタ (3R-71)	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
格納容器排気筒高圧レンジガスモニタ (低レンジ) (3R-80A)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
格納容器排気筒高圧レンジガスモニタ (高レンジ) (3R-80B)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
補助建屋排気筒高圧レンジガスモニタ (低レンジ) (3R-81A)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
補助建屋排気筒高圧レンジガスモニタ (高レンジ) (3R-81B)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
A主蒸気管モニタ (3R-87)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
B主蒸気管モニタ (3R-88)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
C主蒸気管モニタ (3R-89)	1.特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		
放水口水モニタ (3R-99)	1.特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	中央制御室エリアモニタ (34R-1)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内エアロック区域エリアモニタ (34R-2)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	放射化学室エリアモニタ (34R-3)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	A充てんポンプ室エリアモニタ (34R-4A)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	B充てんポンプ室エリアモニタ (34R-4B)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	C充てんポンプ室エリアモニタ (34R-4C)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ (34R-5)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	カンブリング室エリアモニタ (34R-6)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ (34R-7)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	アシファルト固化装置ドラム赤てん監視区域エリアモニタ (34R-9A)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 【生体遮蔽装置】	赤てんドラム貯蔵室クレーン操作区域エリアモニタ (34R-9B)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内オペレーティングフロアエリアモニタ (34R-10)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	1次系制御室エリアモニタ (34R-11)	1. 特性試験	低	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	1. 特性試験	高	13M	○	22回	放射線監視装置機能検査	
	放射線管理施設【放射線管理用計測装置】その他の弁	1. 分解点検	高	130M	-	21回	1次系弁検査	
	放射線管理施設【放射線管理用計測装置】その他の機器	1. 分解点検他	高	13M	○	22回		一部BMあり
	中央制御室遮蔽	1. 漏えい試験	高	6Y	-	21回	中央制御室の居住性確認検査	21回施設定期検査より追加
	緊急時対策所遮蔽	1. 漏えい試験	高	1F	○	22回	緊急時対策所の居住性確認検査	21回施設定期検査より追加
	放射線管理施設【生体遮蔽装置】	1. 外観点検	高	3M-1F	○	22回		21回施設定期検査より追加
	放射線管理施設 【換気設備】	A格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査
B格納容器排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	4F	-	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
A格納容器空気清化フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
B格納容器空気清化フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	4F	-	22回	1次系換気空調設備検査	
中央制御室非常用循環系 (A系列)		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	中央制御室非常用循環系機能検査	
中央制御室非常用循環系 (B系列)		1. 機能・性能試験	高	1F	-	20回※	中央制御室非常用循環系機能検査	4号設備 ※4号での実績
中央制御室非常用循環フィルタユニット (A系列)		1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査) 1. よう素フィルタ性能検査 (漏えい率検査) 3. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	○	22回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
中央制御室非常用循環フィルタユニット (B系列)		1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査) 1. よう素フィルタ性能検査 (漏えい率検査) 3. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	○	22回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
中央制御室非常用循環系 (A系列)		1. 機能・性能試験	高	A※	-	22回	1次系換気空調設備検査	※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
中央制御室非常用循環系 (B系列)		1. 機能・性能試験	高	4F	-	22回	1次系換気空調設備検査	4号設備 ※4号での実績
放射線管理施設 【換気設備】	34A放射線管理室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	34B放射線管理室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	4F	-	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する (設備診断技術)
放射線管理施設 【換気設備】	緊急時対策所可搬型空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)	高	1Y	○	22回	可搬型換気空調設備検査	先行実施 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加
	A 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	燃料取扱室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	34ベイヤ排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	34B 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	4F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	34A 中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	-	22回		
	34B 中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	-	22回		
	34C 中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	-	20回※		4号設備 ※4号での表績
	34D 中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	-	20回※		4号設備 ※4号での表績
	A 格納容器給気ユニット	1. 開放点検	低	50M	-	21回		先行実施
	B 格納容器給気ユニット	1. 開放点検	低	50M	-	21回		先行実施
	A 補助建屋給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	-	22回		先行実施
	B 補助建屋給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	-	21回		先行実施
	3・4放射線管理室給気ユニット	1. 開放点検	低	52M	-	22回		先行実施
	A 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 2M (対象: 電動機))
	B 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	260M	-	21回		
	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	260M	-	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 2M (対象: 電動機))
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	260M	-	21回		
	A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 2M)
	B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	260M	-	21回		
	C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	260M	-	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 2M)
	D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	260M	-	21回		
	A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 2M)
	B 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	低	91M	-	21回		
				1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
				260M	-	18回		
				91M	-	22回		

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する ( 設備診断技術)
放射線管理施設 【換気設備】	34A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験 (電動機)	高	78M	-	22回	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34C 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	-	21回	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34D 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	-	20回※	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34A 放射線管理室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	260M	-	20回※	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34B 放射線管理室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	-	20回※	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34C 放射線管理室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M (対象：電動機) )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34D 放射線管理室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	-	22回	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M (対象：電動機) )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34A 放射線管理室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	260M	-	20回※	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M (対象：電動機) )
		2. 分解点検 (ファン)						
	34B 放射線管理室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	-	20回※	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M (対象：電動機) )
		2. 分解点検 (ファン)						
34C 放射線管理室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	-	20回※	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M (対象：電動機) )	
	2. 分解点検 (ファン)							
34D 放射線管理室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	-	20回※	1次系換気空調設備検査	( 換動診断：4M (対象：電動機) )	
	2. 分解点検 (ファン)							
緊急時可燃物可燃型空気浄化ファン	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	可搬型換気空調設備検査	先行実施 21回施設定検時に設置 21回施設定期検査より追加	
	2. 分解点検 (ファン)							
34A 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)							
34B 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	10M	-	21回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)							
34A 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 ( 換動診断：4M (対象：ファン) )	
	2. 分解点検 (ファン)							
34B 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	78M	-	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 ( 換動診断：4M (対象：ファン) )	
	2. 分解点検 (ファン)							

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 【換気設備】	A補助建屋結気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M (対象: 電動機))
	B補助建屋結気ファン・電動機	3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	14回 21回		
A補助建屋排気ファン・電動機	A補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M (対象: 電動機))
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
B補助建屋排気ファン・電動機	B補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M)
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
C補助建屋排気ファン・電動機	C補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M)
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
A燃料取扱室結気ファン・電動機	A燃料取扱室結気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M (対象: 電動機))
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
B燃料取扱室結気ファン・電動機	B燃料取扱室結気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M)
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
A燃料取扱室排気ファン・電動機	A燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M (対象: 電動機))
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
B燃料取扱室排気ファン・電動機	B燃料取扱室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M)
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
34ベイヤ排気ファン・電動機	34ベイヤ排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M)
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
34ホット工作業排気ファン・電動機	34ホット工作業排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M)
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
34廃棄物処理建屋送気ファン・電動機	34廃棄物処理建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M)
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
34廃棄物処理建屋排気ファン・電動機	34廃棄物処理建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	低	260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (集動診断: 4M)
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
自動アンバ	自動アンバ	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ファン)	高・低	1F 260M	○	22回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
放射線管理施設【換気設備】 【その他設備】	放射線管理施設【換気設備】 【その他設備】	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	65F~130M B	○	22回	1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
放射線管理施設 【その他設備】	放射線管理施設 【その他設備】	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	130M	○	22回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	一部先行実施
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
放射線管理施設 【その他設備】	放射線管理施設 【その他設備】	1.機能・性能試験 2.分解点検	低	13M~260M 13M~260M	○	22回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	一部先行実施 一部B/Mあり
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		
放射線管理施設 【その他設備】	放射線管理施設 【その他設備】	1.機能・性能試験 2.分解点検	高	1Y	○	22回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	21回施設稼働時に設置
		3.簡易点検 (モニター内部清掃)		78M 156M	-	7回 21回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(断層技術)
原子炉格納容器 【原子炉格納容器】	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F	—	21回	原子炉格納容器全体漏えい率検査 (第27回定検において設計圧力にて実施予定)	
	エアロック	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		2. 分解点検	高	52M	—	20回		
		3. 簡易点検 (パッキン取替他)	高	13M	○	22回		
機器出入口	1個	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		2. 分解点検	高	52M	○	19回		
		3. 簡易点検 (パッキン取替他)	高	13M	○	22回		
		2. 非破壊試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	IS1プログラムによる。 【別紙-6】
配管貫通部	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		2. 開放点検	高	開放時※	—	21回		※但し、最長1回/10定検
		1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
電源貫通部	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		格納容器隔離番号 (T・V番号) により隔離される弁	70個	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回
1. 漏えい率試験	高			2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
1. 機能・性能試験	高			1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
1. 機能・性能試験	高			1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
1. 分解点検	高			52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
格納容器隔離番号 (P・V番号) により隔離される弁	20個			1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回
		1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	○	22回
1. 漏えい率試験	高			2回/3F	○	22回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
1. 機能・性能試験	高			1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
1. 機能・性能試験	高			1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
1. 分解点検	高			52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			52M	—	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			130M	—	19回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1. 分解点検	高			65M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁駆動部	4個			1. 簡易点検 (簡易試験他)	高	52M~130M	○	22回
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁駆動部	
原子炉格納容器隔離弁駆動部	4個	1. 簡易点検 (補えい試験)	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁駆動部	
		2. 簡易点検 (補えい試験)	高	1F	○	22回	原子炉格納容器隔離弁駆動部	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉格納施設 【原子炉格納容器】	原子炉格納施設「原子炉格納容器」その1式 他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検(プラグアンドハッキン取替)	高	B 52M~130M 52M	○ ○ ○	22回 22回 22回	1次系弁検査 1次系弁検査 2次系弁検査	
	原子炉格納施設「原子炉格納容器」その1式 他の弁駆動部	1.機能・性能試験	高	B 52M~65M	○	22回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設「原子炉格納容器」その1式 他機器	1.分解点検 1.分解点検他	高 低	13M~130M 130M	○ -	22回 22回	原子炉格納容器安全系機能検査	一部B1Mあり
原子炉格納施設 【圧力低減設備その他の安全設備】	原子炉格納容器スプレイ系	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) 2.機能・性能試験	高	1F	○	22回	原子炉格納容器安全系機能検査	[対象設備] ・A原子炉格納容器スプレイポンプによる代替弁心注入系 21回施設定期検査より追加
	A原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 2.簡易点検(電動機) 1.開放点検(管側) 2.非破壊試験	高	130M 26M 130M 130M	- ○ ○ -	19回 21回 22回 14回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(駆動診断:1M) その他原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査は21回施設定期検査より追加 [対象設備] ・A、B格納容器スプレイポンプ
	B原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1.分解点検(電動機) 2.簡易点検(管側)	高	130M 26M	- ○	19回 22回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(駆動診断:1M)
	A格納容器スプレイ冷却器	1.開放点検(管側) 2.非破壊試験	高	130M 195M 130M	- - -	19回 19回 19回	1次系熱交換器検査	
	B格納容器スプレイ冷却器	1.開放点検(管側) 2.非破壊試験	高	130M 195M 130M	- - -	20回 20回 20回	1次系熱交換器検査	
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	1.分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CI-024A	1.分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CI-024B	1.分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CI-054A	1.分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3V-CI-054B	1.分解点検	高	130M	○	16回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
3V-CI-001A	1.分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-CI-001B	1.分解点検	高	130M	○	16回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-CI-003A	1.分解点検	高	130M	-	21回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
3V-CI-003B	1.分解点検	高	130M	-	22回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部1式	1.分解点検	高	156M	-	20回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する (設置診断設備)
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	可燃性ガス濃度制御系主要弁	1. 分解点検	高	65M	-	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	65M	-	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	65M	-	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	65M	-	22回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	65M	-	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	65M	-	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	65M	-	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	65M	-	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	65M	○	21回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検	高	130M	-	20回	1次系真空破壊弁検査	
		1. 分解点検	高	130M	-	20回	1次系真空破壊弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	アニュウラス排気系機能検査	A系、B系交互に実施
		1. よう素除去効率検査 (よう素除去効率低下) (漏えい率検査)	高	1F	○	22回	アニュウラス排気系フィルター性能検査	
		2. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	○	22回	アニュウラス排気系フィルター性能検査	
		1. 機能・性能試験	高	X※	-	21回		※よう素フィルター性能検査結果により適宜実施
		2. 開放点検	高	4F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検	高	4F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検	高	4F	-	22回	1次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		2. 開放点検	高	260M	-	20回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (電動機)	高	78M	-	22回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (電動機)	高	78M	-	22回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		1. 機能・性能検査 (よう素フィルター性能検査)	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	※よう素フィルター性能検査結果により適宜実施
		2. 開放点検 (フィルタ取替)	高	X※	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検	高	4F	-	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)	高	260M	-	20回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (電動機)	高	78M	○	16回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)	高	1F	○	22回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		2. 分解点検 (ファン)	高	260M	-	21回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (電動機)	高	78M	-	15回	1次系換気空調設備検査	
		1. 外観点検	高	1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査時に設置
		2. 機能・性能試験	高	5F	-	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加
		1. 外観点検	高	1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査時に設置
		2. 機能・性能試験	高	5F	-	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加
		1. 外観点検	高	1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査時に設置
		2. 機能・性能試験	高	5F	-	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加
		1. 外観点検	高	1F	○	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査時に設置
		2. 機能・性能試験	高	5F	-	22回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	21回施設定期検査より追加



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断投部		
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	原子炉格納容器木炭燃焼装置	13個	高	1F	○	22回	原子炉格納容器木炭再結合装置機能検査	21回施設定期時に設置 21回施設定期検査より追加		
	原子炉格納容器 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高	13M	○	22回	計測制御監視機能検査	21回施設定期時に設置	
		1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	20回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁駆動部	1式	2. 分解点検	高・低	130M	○	22回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査		
		1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	22回	1次系弁検査		
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1式	2. 分解点検	高	65M~156M	—	22回			
		1式	3. 簡易点検 (特性試験)	高	65M	—	22回			
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1式	1. 分解点検他	高	65M~130M	○	22回			
		1式	1. 分解点検他	低	65M~130M	○	22回			
	原子炉設備 [その他設備]	原子炉格納容器内注水機器	1式	高	130M	—	21回	1次系逆止弁検査	一部BMあり 12回施設定期時に設置	
		クラス1機器 (使用期間中検査対象)	1式	1. 非破壊試験	高	7Y	○	22回	クラス1機器使用期間中検査	ISIプログラムによる。
			1式	2. 漏えい試験	高	7Y	○	22回	クラス1機器使用期間中検査	[別紙-1]
		クラス2機器 (使用期間中検査対象)	1式	1. 非破壊試験	高	10Y	○	22回	クラス2機器使用期間中検査	ISIプログラムによる。
1式			2. 漏えい試験	高	10Y	○	22回	クラス2機器使用期間中検査	[別紙-2]	
クラス3機器 (使用期間中検査対象)		1式	1. 非破壊試験	高	10Y	○	22回	クラス3機器使用期間中検査	ISIプログラムによる。	
		1式	2. 漏えい試験	高	10Y	○	22回	クラス3機器使用期間中検査	[別紙-3]	
クラス1機器N基金使用部位 (重大事故等クラス2機器使用期間中検査対象含む)		1式	1. 非破壊検査	高	3Y	○	21回	使用期間中特別検査のうちクラス1機器N基金使用部位特別検査	ISIプログラムによる。	
		1式	1. 非破壊試験	高	25%/10Y	—	22回	使用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	ISIプログラムによる。 [別紙-5]	
重大事故等クラス2機器 (使用期間中検査対象含む)		1式	1. 非破壊試験	高	10Y	—	18回	使用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	ISIプログラムによる。 [別紙-1]	
		1式	2. 漏えい試験	高	10Y	—	22回	重大事故等クラス2機器使用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-7]	
重大事故等クラス2機器		1式	1. 非破壊試験	高	10Y	○	22回	重大事故等クラス2機器健全性検査	21回施設定期検査より追加	
		1式	2. 漏えい試験	高	10Y	○	22回	重大事故等クラス2機器健全性検査		
クラス3機器、クラス4管、排気筒及び安全上重要なダクト副圧部 (クラス3機器 [SIは除く])	1式	1. 外観点検	高・低	100%/5Y~100%/10Y	○	22回	構造健全性検査			
	1式	1. 漏えい試験	高	100%/10Y	○	22回	構造健全性検査			
RCPBのシフト・ドレン弁の閉止弁	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	22回	構造健全性検査			
	1式	1. 外観点検	高	100%/10Y	—	16回	レストレイント検査			
原子炉設備 [その他設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	22回	1次系安全弁検査			
	1式	2. 分解点検	高	130M	○	18回	1次系逆止弁検査			
原子炉設備 [その他設備] その他の機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	22回				
	1式	1. 分解点検他	低	12M~156M	○	22回		一部BMあり 一部先行実施		
原子炉設備 [その他設備] その他の機器	1式	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	22回	耐震健全性検査			
	1式	1. 分解点検他	高	52M~182M	○	22回		12回施設定期時に設置 (一部)		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術	
蒸気タービン 【車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸】	高圧タービン	1. 開放点検	高	2M	○	21回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃 (他))				22回			
		1. 開放点検				22回	蒸気タービン開放検査		
		2. 外観点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃 (他))				22回			
	第1 低圧タービン	第2 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
			2. 外観点検				21回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃 (他))				22回		
			1. 開放点検				21回	蒸気タービン開放検査	
			2. 外観点検				22回	蒸気タービン開放検査	
			3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃 (他))				21回		
第3 低圧タービン	ロータ	1. 開放点検	高	26M	-	22回	蒸気タービン開放検査		
		2. 外観点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃 (他))				22回	蒸気タービン開放検査		
蒸気タービン 【调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁】	蒸気タービン本体及び附属設備	1. 保安装置点検	高	1F	○	22回	蒸気タービン性能検査	一部施設起動後 施設注検起動後	
		2. 負荷点検				22回	総合負荷性能検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査		
	# 1 主蒸気止め弁	# 2 主蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検				22回	蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検				B	蒸気タービン開放検査	
# 3 主蒸気加減弁	# 4 主蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
A 1 再熱蒸気止め弁	A 2 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	39M	-	21回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
A 3 再熱蒸気加減弁	B 1 再熱蒸気加減弁	1. 開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
A 1 オイルターセプト弁	A 2 オイルターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	○	20回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
A 3 インターセプト弁	B 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	-	21回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
B 2 インターセプト弁	B 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	39M	-	21回	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				20回	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検				39M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検				21回	蒸気タービン開放検査		
调速装置 (非常调速装置)		1. 外観点検	高	1F	○	22回	蒸気タービン開放検査		



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕	第2 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	22回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	—	22回		
		3. 非破壊試験		130M	—	17回		
	第2 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	18回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	—	18回		
		3. 非破壊試験		130M	—	18回		
	第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	—	19回		
		3. 非破壊試験		130M	—	19回		
	第3 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	18回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	—	18回		
		3. 非破壊試験		130M	—	18回		
	第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	—	19回		
		3. 非破壊試験		130M	—	19回		
	第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	20回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	—	20回		
		3. 非破壊試験		130M	—	20回		
	第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	18回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	—	18回		
		3. 非破壊試験		130M	—	18回		
	第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	19回	2次系熱交換器検査	
		2. 漏えい試験		B	—	19回		
		3. 非破壊試験		130M	—	19回		
第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	20回	2次系熱交換器検査		
	2. 漏えい試験		B	—	20回			
	3. 非破壊試験		130M	—	20回			
第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	19回	2次系熱交換器検査		
	2. 漏えい試験		B	—	19回			
	3. 非破壊試験		130M	—	17回			
第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	19回	2次系熱交換器検査		
	2. 漏えい試験		B	—	19回			
	3. 非破壊試験		130M	—	19回			
グラント蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	○	18回	2次系熱交換器検査		
	2. 漏えい試験		B	—	18回			
	3. 非破壊試験		130M	—	18回			
給水・復水系統	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	22回	蒸気タービン付属設備機能検査	施設点検起動後	
	2. 漏えい試験		B	—	22回			
	3. 非破壊試験		B	—	22回			
Aタービン動主給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (駆動タービン)	高	26M	—	22回	2次系ポンプ機能検査		
	2. 分解点検 (ポンプ)		26M	—	22回			
	3. 簡易点検 (オイルフィルタ取替)		13M	○	22回			
Bタービン動主給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	高	B	○	21回	2次系ポンプ機能検査		
	2. 漏えい試験 (駆動タービン)		B	—	21回			
	3. 簡易点検 (オイルフィルタ取替)		13M	○	22回			
電動主給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (電動機)	高	130M	—	20回	2次系ポンプ機能検査		
	2. 分解点検 (ポンプ)		156M	—	22回			
	3. 簡易点検 (オイルフィルタ取替)		13M	○	22回			
Aタービン動主給水フースタポンプ	1. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	20回	2次系ポンプ分解検査		
	2. 簡易点検 (ストレーナ点検)		13M	○	22回			
	3. 簡易点検 (ストレーナ点検)		52M	○	19回			
Bタービン動主給水フースタポンプ	1. 分解点検	高	13M	○	22回	2次系ポンプ分解検査		
	2. 簡易点検 (ストレーナ点検)		52M	○	19回			
	3. 簡易点検 (ストレーナ点検)		13M	○	22回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)		
蒸気タービン 【蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備】	電動主給水ポンプ・電動機 A 復水ポンプ・電動機 B 復水ポンプ・電動機 C 復水ポンプ・電動機 A 復水配風塔 B 復水配風塔 C 復水配風塔 D 復水配風塔 E 復水配風塔 復水タンク	1. 分解点検 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M	—	20回				
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	30M	—	22回				
		1. 分解点検 (電動機)	高	10M	—	21回				
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	22回				
		1. 分解点検 (電動機)	高	10M	—	22回				
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	13M	○	22回				
		1. 分解点検 (電動機)	高	30M	—	21回				
		2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	10M	—	22回				
		1. 分解点検 (電動機)	高	13M	○	22回				
		1. 開放点検	高	130M	—	17回				
		2. 簡易点検 (通気管全副清)	高	13M	○	22回				
		1. 分解点検他	高	65M~260M	○	22回			一部先行実施	
		1. 分解点検他	低	13M~260M	○	22回			一部BIMあり 一部先行実施	
		1. 開放点検	高	1F	○	22回			蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験	高	両所管理指針による	○	22回			蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン 【蒸気タービンに附属する管等】	2 次系配管他 (上記以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統) ※ ※配管の他、ポンプ、熱交換器、弁等を含む (外観点検のみ) タービンハイパス弁	1. 外観点検 2. 非破壊試験	高・低	100%/10V 両所管理指針による	○	22回		2 次系配管検査 2 次系配管検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	22回		タービンハイパス弁機能検査		
		2. 分解点検	高	26M~52M	○	21回				
		3. 簡易点検 (グラランドバックン取替)	高	26M	○	22回				
		1. 分解点検	高	13M	○	22回				
		2. 簡易点検 (特性試験)	高・低	B	○	22回				
		1. 機能・性能試験	高	104M~130M	○	22回			1 次系安全弁検査 2 次系弁検査 1 次系安全弁検査 2 次系安全弁検査	
		2. 分解点検	高	130M	—	20回				
		3. 簡易点検 (グラランド入替)	高	B	—	16回			2 次系弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	182M	—	16回				
		2. 分解点検	高	52M	—	22回				
		3. 簡易点検 (特性試験)	高	13M~260M	○	22回				
		1. 分解点検他	低	12M~260M	○	22回				保全の有効性評価結果No. 11、12、13の反映 一部BIMあり 一部先行実施 保全の有効性評価結果No. 11の反映

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)				
補助ボイラー	【補助ボイラー】 筒状器 管寄せ及び管 安全弁 ボイラーに付属する給水設備 ボイラーに付属する通風設備 ボイラーに付属する管等 油燃焼用機器	1式	低	120M※1	○	33回※2	補助ボイラー-開放検査	先行実施 ※1：前回点検後の運転時間が4,000時間、又は起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに実施する。 ※2：ボイラー-定検回数、今回は35回定検				
									1. 開放点検	117M~240M	33回※	先行実施 ※ボイラー-定検回数、今回は35回定検
									2. 性能試験	B※1	33回※2	先行実施 ※1：補助ボイラー-開放検査にあわせて実施 ※2：ボイラー-定検回数、今回は35回定検
									3. 簡易点検(グラランドハットキーン取替他)	1V	34回※	先行実施 ※ボイラー-定検回数、今回は35回定検
									1. 開放点検	120M	26回※	先行実施 ※ボイラー-定検回数、今回は35回定検
									1. 開放点検	120M	30回※	先行実施 ※ボイラー-定検回数、今回は35回定検
									2. 簡易点検 (内部清掃)	12M	34回※	先行実施 ※ボイラー-定検回数、今回は35回定検
									1. 分解点検他	12M~240M	34回※	先行実施 ※ボイラー-定検回数、今回は35回定検

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	1式	1. 外観点検	高	1F	○	22回		21回施設設定検時に設置
	1式	1. 外観点検	高	10F	—	—		21回施設設定検時に設置
	1式	1. 外観点検	高	1V	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中
	1式	1. 特性試験	高	13M	○	22回		21回施設設定検時に設置
	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回		21回施設設定検時に設置
	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	○	22回		21回施設設定検時に設置
		2. 外観点検	低	1F	○	22回		21回施設設定検時に設置
		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	低	B※	—	22回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		1. 分解点検 (ポンプ)	低	1V	—	22回		21回施設定期検査より追加
		1. 分解点検 (電動機)	低	CM	—	—		(※電動診断: 1Y (対策: 電動プラント) 運転中又は施設定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	1式	1. 機能・性能試験	低	B	○	20回		21回施設定期検査より追加
	1式	2. 分解点検	低	B	—	—		21回施設定期検査より追加
	1式	1. 機能・性能試験	高・低	182M	—	18回		21回施設定期検査より追加
	1式	2. 分解点検	高・低	1F~8F	○	20回		プラント運転中又は施設定検停止中
	1式	1. 分解点検他	高・低	13M~208M	○	22回		21回施設定期検査より追加
	1式	1. 分解点検他	高	39F~156M	○	22回		21回施設定期検査より追加
	1式	1. 分解点検他	高	52M~156M	○	22回		21回施設定期検査より追加
	1式	1. 分解点検他	高	78M~104M	—	22回		21回施設定期検査より追加
	2台	1. 分解点検他	低	13M~240M	○	22回		21回施設定期検査より追加
	1式	2. 分解点検 (ポンプ)	低	B※	—	—		※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
非常用電源設備 [非常用発電装置]	1式	2. 分解点検 (電動機)	低	10F	—	—		21回施設定期検査より追加
	1式	1. 分解点検	低	6F	—	—		21回施設定期検査より追加
	1式	1. 分解点検	高・低	260M	—	—		21回施設定期検査より追加
	1式	1. 分解点検他	高・低	4V~130M	—	—		プラント運転中又は施設定検停止中
	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)
	45台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	22回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)
	No. 1, 8	1. 分解点検	高	130M	—	21回		非常用ディーゼル発電機分解検査
	No. 2, 3, 9, 10	1. 分解点検	高	130M	○	16回		非常用ディーゼル発電機分解検査
	No. 4, 5, 11, 12	1. 分解点検	高	130M	—	18回		非常用ディーゼル発電機分解検査
	No. 6, 13	1. 分解点検	高	130M	—	20回		非常用ディーゼル発電機分解検査
No. 7, 14	1. 分解点検	高	130M	—	21回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
No. 1, 8	1. 分解点検	高	130M	—	22回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
No. 2, 3, 9, 10	1. 分解点検	高	130M	—	17回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
No. 4, 5, 11, 12	1. 分解点検	高	130M	—	19回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
No. 6, 13	1. 分解点検	高	130M	—	21回		非常用ディーゼル発電機分解検査	
No. 7, 14	1. 分解点検	高	130M	—	21回		非常用ディーゼル発電機分解検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(断設備)	
非常用電源設備 [非常用発電装置]	A ディーゼル機関の吸気弁	1. 分解点検	高	2回	○	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	B ディーゼル機関の排気弁	1. 分解点検	高	2回	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	A ディーゼル機関の非吸気弁	1. 分解点検	高	2回	○	21回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	B ディーゼル機関の非排気弁	1. 分解点検	高	2回	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	A ディーゼル機関の燃料噴射弁	1. 分解点検	高	13回	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	B ディーゼル機関の燃料噴射弁	1. 分解点検	高	13回	○	22回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	ディーゼル発電機付属設備	1. 外観点検 2. 非破壊試験 3. 機能・性能試験 4. 特性試験	高	1F 13M~78M 1F~10F	○	22回	非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査		
	空冷式非常用発電装置	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低 高	1F 8V	○ -	22回 -	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査 その他非常用発電装置の分解検査	21回施設定検時に設置 21回施設定検時に設置 保全の有効性評価結果No. 14, 15の反映	
	可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	1V	○	22回	可搬式代替発電機設備検査	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定検時に設置	
	緊急時対策用電源車	1. 機能・性能試験	高	1V	○	22回	可搬式代替発電機設備検査	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置	
	電源車	1. 機能・性能試験	高	1V	○	22回	可搬式代替発電機設備検査	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置 21回施設定検時に設置	
	タンクローリー	1. 機能点検	高	1V	○	22回	可搬式代替発電機設備検査	プラント運転中又は施設定検停止中 21回施設定検時に設置	
	非常用電源設備 [非常用発電装置] 其他機器	1. 分解点検 2. 簡易点検 3. 機能・性能試験 (作動機能)	高 低	13M~208M 13M~182M	○	22回	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	一部BMあり 21回施設定検時に設置	
	非常用電源設備 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	1. 機能・性能試験 (作動機能) 2. 簡易点検 (充電)	高	1F 2回/V	○ -	22回	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	
		計器用電源	1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (特性試験)	高	1F 13M	○	22回	インバータ機能検査	
可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用)		1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	1F	○	22回		21回施設定検時に設置	
可搬式整流器		1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	1F	○	22回		21回施設定検時に設置	
非常用電源設備 [その他の電源装置] 其他機器		1. 分解点検	高	6M~180M	○	22回			
		1. 分解点検	低	13M	○	22回			



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断設備)	
土木建築設備	原子炉建屋	1式	高・低	1F	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	外周建屋	1式	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	中間建屋	1式	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	原子炉補助建屋	1式	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	燃料取扱建屋	1式	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	制御建屋	1式	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	燃料取扱専用水タンク建屋	1式	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	ディーゼル発電機建屋	1式	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	1・2号機原子炉補助建屋	1式	高	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	固体廃棄物貯蔵庫	1式	低	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	取水口設備	1式	高	1Y~1F	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	敷地内土木構造物	1式	低	1Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中	
	プラント総合	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)	1式	高	1F	○	22回		21回施設定検時に設置
		海水取水トンネル	1式	高	4Y	○	21回	総合負荷性能検査	21回施設定検時に設置
	補機駆動用燃料設備 [燃料貯蔵設備]	ガソリン用ドラム缶	68個	高	2回/Y	○	22回		プラント運転中又は施設定検停止中
									21回施設定検時に設置

# クラス1 機器供用期間中検査 供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査

1. 原子炉容器(1/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所 第3号機 検査計画(7カ年)										備考
								H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年				
B1.102	B-A	下部胴の束手溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		上部胴と下部胴との間溶接継手	体積	5%	1	水中UT (内面)	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B2.111	B-B	下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積	5%	1	水中UT (内面)	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		トランジションリングと下部胴との周溶接継手	体積	5%	1	水中UT (内面)	5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	可能範囲 100%	1	水中UT (内面)	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3.10	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		冷却材入口管台とセーフエントドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面) PT	可能範囲 各100%	-	-	B (PT) 100%	C (PT) 100%	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B5.10	B-F	冷却材出口管台とセーフエントドの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び表面	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面) PT	可能範囲 各100%	-	-	A (PT) 100%	B (PT) 100%	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	100% 58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B6.30	B-G-1	スタットボルト	体積	100%	58	UT	100% 58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58	UT	100% 58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B6.50	B-G-1	ワッシャー	VT-1	100%	58	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	100% 58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B7.10	B-G-2	マーマンカップリング	VT-1	25%	3	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	25% 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	

1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所 第3号機 検査計画(7カ年)							備考		
					設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H30年 第6回全 サイクル	H31年	H32年 第4回全 サイクル	H33年 第5回全 サイクル		H34年	H35年 第6回全 サイクル
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の 各検査時期毎 7.5%	1	VT-3	可能範囲 各検査時期毎 100%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物 下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の 7.5%	1	VT-3	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
G1.50	G-P-2	炉心内部取付物 上部炉心支持構造物 下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	4	VT-3	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部) 制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)	体積又は 表面 PT	最外周の 2.5% 最外周の 2.5%	最外周20 (全52) 最外周23 (全55)	PT	最外周の 2.5% 最外周の 2.5%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 サポートブラケット サポートシュー、基礎(バルト)	VT-3	2.5%	6	VT-3	2.5% 2	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

2. 加圧器(1/1)		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H30年 第7回保全 サイクル	H31年 第8回保全 サイクル	H32年 第9回保全 サイクル	H33年 第10回保全 サイクル	H34年 第11回保全 サイクル	H35年 第12回保全 サイクル	H36年 第13回保全 サイクル	
B2.11	B-B	上部胴と上部継手との周継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	5%	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B2.12	B-B	下部胴と下部継手との周継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	-	-	-	5%	-	(重大事故等クラス2機器)
B2.13	B-B	上部胴の長手継手	体積	各10%	2	UT	各10%	A10%	-	-	B10%	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B2.13	B-B	下部胴の長手継手	体積	各10%	2	UT	各10%	-	-	A10%	-	-	B10%	-	(重大事故等クラス2機器)
B3.30	B-D	上部胴と下部胴との周継手	体積	5%	1	UT	5%	-	-	-	5%	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B3.40	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	25%	6	UT	25%	-	-	1(サー ジ管台)	-	-	-	1(ス フ レイ 管 台)	(重大事故等クラス2機器)
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	25%	6	UT	25%	-	-	1(サー ジ管台)	-	-	-	1(ス フ レイ 管 台)	(重大事故等クラス2機器)
B5.40	B-F	管台とセーフエントの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び 表面	25%	1	UT PT	25%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	表面	25%	16	VT-1 (濡えい時又は 取外し時)	25%	1	-	1	-	-	2	-	(重大事故等クラス2機器)
B8.20	B-H	支持材の容器への取付け溶接継手 (スカーツ溶接継手)	表面	7.5%	1	PT	7.5%	-	-	7.5%	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B15.20	B-P	圧力保持範囲	表面	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物(スカーツ、基礎ボルト)	表面	25%	1	VT-3	25%	-	-	-	-	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)

3. 蒸気発生器(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NM1-2008

高浜発電所 第3号 機械検査計画(7カ年)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	検査計画(7カ年)							備考
								H30年 第1回検査 サイクル	H31年 第2回検査 サイクル	H32年 第3回検査 サイクル	H33年 第4回検査 サイクル	H34年 第5回検査 サイクル	H35年 第6回検査 サイクル	H36年 第7回検査 サイクル	
B2.40	B-B	管板と水室壁との溶接継手	体積	1基の 25%	3	UT	1基の 25%	-	C 9%	C 8%	-	-	-	C 8%	(重大事故等クラス2機器)
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	1基の 25%	6	UT	1基の 25%	-	-	C入口 1	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継 手、冷却材出口管台とセーフエントの溶接継 手 (呼び径100A以上)	体積及び 表面	1基の 25%	6	UT PT	1基の 25%	A入口 1 (PT)	A入口 1 (UT)	A入口 1 (ECT+1)	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1	1基の 25%	96	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	1基の 25%	C入口 3	C入口 2	C入口 3	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	-	-	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1基の 25%	12	VT-3	1基の 25%	-	C1	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

(\*)1) 代替試験として内面ECOTを合わせて実施

4. 配管(1/3)		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H30年 第23回全 サイクル	H31年 第24回全 サイクル	H32年 第25回全 サイクル	H33年 第26回全 サイクル	H34年 第27回全 サイクル	H35年 第28回全 サイクル	H36年 第29回全 サイクル		
B7.50	B-G-2	圧力保持バルブ接続部 (口径50mm以下)														
		1次冷却ポンプ排水注入ライン A. B. C. ループ	V-T-1	25%	3	V-T-1 (漏えい時又は 取外し時)	25% 1							C1		
B8.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100以上)														
		1次冷却材管 (C7 (MID), 536, 60mm, 29MID, 31MID), C. ループ	体積	25%	46	UT	25% 1, 2	A3		A1 B1 C1				B1 C1	A1 C1 (重大事故等クラス2機器)	
		加圧器サージ管 (145, 355, 50mm)	体積	25%	7	UT	25% 2			1				1	(重大事故等クラス2機器)	
		加圧器安全弁ライン (68)	体積	25%	30	UT	25% 8	A1 B1		A1 B1				C2 C1	(重大事故等クラス2機器)	
		加圧器遮断弁ライン (68)	体積	25%	12	UT	25% 3			1				1	(重大事故等クラス2機器)	
		加圧器スプレイレイン (46, 60, 70mm) A. C. ループ	体積	25%	50	UT	25% 1, 3	A2 C1		A2 C1				A2 C1	A1 C1 (重大事故等クラス2機器)	
		加圧器補助スプレイレイン (46)	体積	25%	1	UT	1								1	
		系統除沫ポンプ入口ライン (128) B. C. ループ	体積	25%	41	UT	25% 1, 1	B1 C1		B1 C1				B1 C1	B2 C1 (重大事故等クラス2機器)	
		SIS 漏注注入ライン (128, 318, 50mm) A. B. C. ループ	体積	25%	32	UT	25% 8	A1 B1		A1 B1				C1 B1	A1 B1 (重大事故等クラス2機器)	
		SIS 高温側低圧注入ライン (46, 166, 20mm) A. B. C. ループ	体積	25%	30	UT	25% 8	A1 B1		A1 B1				B2 A1	A1 (重大事故等クラス2機器)	
SIS 低温側低圧注入ライン (68) A. B. C. ループ	体積	25%	44	UT	25% 1, 1	A1 B1		A2 B1				C2 C1	A1 C1 (重大事故等クラス2機器)			
SIS 高温側補助注入ライン (46, 60) C. ループ	体積	25%	6	UT	25% 2							1	1			
配管の同種金属溶接継手 (呼び径100未満)																
B8.21	B-J	加圧器遮断弁ライン (36)	表面	25%	20	PT	25% 5	1		2	1			1	(重大事故等クラス2機器)	
		加圧器補助スプレイレイン (28, 60, 50mm)	表面	25%	19	PT	25% 5	1		1				2		
		系統除沫ポンプ入口ライン (128) B. C. ループ	表面	25%	4	PT	25% 1							B1	(重大事故等クラス2機器)	
		RTD エネル及び閉止分岐管 (36) A. B. C. ループ	表面	25%	7	PT	25% 2			B1				A1		
		抽出・系統抽出及びドレンライン (28, 38, 60, 50mm, 89, 10mm) A. B. C. ループ	表面	25%	31	PT	25% 8	B1 C1		B1 C1		C3			C1	
		CVCSS 充てんライン (36, 69, 10mm) B. C. ループ	表面	25%	8	PT	25% 2			B1				B1	B1 (重大事故等クラス2機器)	
1次冷却ポンプ排水注入ライン (11/28) A. B. C. ループ	表面	25%	3	PT	25% 1				A1					(重大事故等クラス2機器)		

4. 配置(2/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考			
								H30年 電力保安 サイクル	H31年 電力保安 サイクル	H32年 電力保安 サイクル	H33年 電力保安 サイクル	H34年 電力保安 サイクル	H35年 電力保安 サイクル	H36年 電力保安 サイクル							
B8.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	2.5%	12	PT	2.5% 3	-	-	B1 C1	-	-	-	-	-	-	-				
								SJS高温側補助注入ライン (2B: 60, 50mm) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								SJS低温側補助注入ライン (2B: 60, 50mm) A. B. Cグループ	-	-	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
								SJS低温側ほう酸注入ライン (2B: 60, 50mm) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B8.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	2.5%	11	UT	2.5% 3	-	-	A1 B1	-	-	-	-	-	-	-				
								1ヶ所部材管 (4B: 68, 12B: 14B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
B8.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	2.5%	17	PT	2.5% 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
								1ヶ所部材管 (2B: 38, 63, 50mm) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								溶融除去ポンプ入口ライン (12B) B. Cグループ	-	-	B1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								SJS高温側低圧注入ライン (2B) A. Bグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
B8.40	B-J	ソケット溶接継手	表面	2.5%	6	PT	2.5% 2	-	-	A1	-	-	-	-	-	-	-				
								SJS低温側低圧注入ライン (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
B8.40	B-J	加圧器補助スフレイライン (2B)	表面	2.5%	1	PT	2.5% 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
								RTDウェル及び閉止分岐管 (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								抽出・糸刺抽出及びドレンライン (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								1ヶ所部材ポンプ封水注入ライン (1/2B: 48, 60mm) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								SJS高温側補助注入ライン (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								SJS低温側補助注入ライン (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								SJS低温側ほう酸注入ライン (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								SJS低温側ほう酸注入ライン (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								SJS低温側ほう酸注入ライン (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								SJS低温側ほう酸注入ライン (2B) A. B. Cグループ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

4. 配置(3/3)

高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NMI-2008	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	検査計画(7カ年)							備考	
								H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年		
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		支持構造物														
		加圧器サージ管	VT-3	25%	9	VT-3	25% 3	-	1	1	-	-	-	-	1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	25%	19	VT-3	25% 5	1	2	1	-	-	-	-	1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器スプレイレイン A. C. ループ	VT-3	25%	62	VT-3	25% 1.6 C2	A2 C2	A1 C3 C1	A2 C1	-	-	-	A2 C3	C3	
		余熱除去ポンプ入ロライン B. C. ループ	VT-3	25%	37	VT-3	25% 1.0	B1	B2 C2 C1	B1 C1	-	-	-	B1 C1	B1 C1	(重大事故等クラス2機器)
		加圧器補助スプレイレイン	VT-3	25%	22	VT-3	25% 6	-	2	2	-	-	-	-	2	
		CVCSS充てみライン B. ループ	VT-3	25%	6	VT-3	25% 2	-	B1	B1	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
F1.10	F-A	抽出・余熱抽出及びドレンライン A. B. C. ループ	VT-3	25%	32	VT-3	25% 8	A1 B1	A1 C2 B1	B1	-	-	-	A1 C1	C1	
		1次冷却材ポンプ封水注入ライン A. B. C. ループ	VT-3	25%	19	VT-3	25% 5	A1	B1 C1	C1	-	-	-	A1 B1	B1	
		S1S蓄圧注入ライン A. B. C. ループ	VT-3	25%	32	VT-3	25% 8	A1 B1	A1 C1 B1	B1	-	-	-	B1 C2	C2	(重大事故等クラス2機器)
		S1S高温側圧注入ライン A. B. ループ	VT-3	25%	21	VT-3	25% 6	A1 B1	A1	A1	-	-	-	A1 B1	B1	
		S1S低圧側圧注入ライン A. B. C. ループ	VT-3	25%	27	VT-3	25% 7	A1 B1	A1 C1 B1	B1	-	-	-	C2	C2	(重大事故等クラス2機器)
		S1S高温側補助注入ライン A. B. C. ループ	VT-3	25%	22	VT-3	25% 6	A1 B1	A1	B1	-	-	-	C1 C1	C1	
		S1S低圧側補助注入ライン A. B. C. ループ	VT-3	25%	13	VT-3	25% 4	A1 B1	A1	B1 C1	-	-	-	A1	A1	
		S1S低圧側ほう湯注入ライン A. B. C. ループ	VT-3	25%	24	VT-3	25% 6	A1 B1	A1 C1 B1	A1	-	-	-	B1 C1	C1	(重大事故等クラス2機器)



S. 1次冷却材ポンプ(1/1)

発用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NM1-2008 高浜発電所第3号機検査計画(7カ年) 備考

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H30年 第27回 サイクル	H31年 第24回 サイクル	H32年 第25回 サイクル	H33年 第26回 サイクル	H34年 第27回 サイクル	H35年 第28回 サイクル	H36年 第29回 サイクル	備考
B6.180	B-G-1	スタッドボルト	体積	1台の25%	72	UT (装着時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	C6	-	(重大事故等クラス2機器)
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%	72	VT-1	1台の25% 6	-	-	-	-	-	C6	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B6.200	B-G-1	ネット ワッシャー	VT-1 VT-1	1台の25% 1台の25%	72 72	VT-1 (挿入し時又は 取外し時) VT-1 (挿入し時又は 取外し時)	1台の25% 6 1台の25% 6	-	-	-	-	-	C6 C6	-	(重大事故等クラス2機器)
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1	3	VT-3	1	-	-	-	-	-	C1	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、 基礎ボルト)	VT-3	1台の25%	9	VT-3	1台の25% 1	-	-	-	-	-	C1	-	(重大事故等クラス2機器)

6. 表(1/2)		高浜発電所第3号機検査計画(7カ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H30年 第23保安 サイクル	H31年 第24保安 サイクル	H32年 第25保安 サイクル	H33年 第26保安 サイクル	H34年 第27保安 サイクル	H35年 第28保安 サイクル	H36年 第29保安 サイクル	
87.70	B-6-2	圧力保排弁ボルト締付け部 (直径50mm以下)													
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	2.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3V-RC- 057 8							(重大事故等クラス2機群)
		加圧器逆がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	3.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3V-RC- 054A 10							(重大事故等クラス2機群)
		3P0V-455A 3P0V-455B 3P0V-454C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	1.8	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3P0V- 455B 6							(重大事故等クラス2機群)
		加圧器スプレイレイン A, Cライン 3P0V-454A 3P0V-454B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	1.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3P0V- 454A 8							
		加圧器補助スプレイレイン 3V-CS-225	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3V-CS- 225 6							
		CVCS充てんライン A, Bライン 3V-CS-233 3V-CS-234	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	2.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分								
		排気・余熱抽出及びドレンライン A, B, Cライン 3V-RC-018A 3V-RC-018B 3V-RC-018C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	2.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分								
		3V-RC-017	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	1.0	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3V-RC- 017 10							
		3L0V-451 3L0V-452	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	1.2	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3L0V-451 6							
		冷却器ポンプ吸入ライン A, Cライン 3P0V-430 3P0V-431	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	3.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3P0V-430 18							
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	3.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分	3V-RH- 003A 18							
S1S蓄圧ライン A, B, Cライン 3V-S1-134A, 136A 3V-S1-134B, 136B 3V-S1-134C, 136C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	9.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分										
S1S高圧制御圧入ライン A, Bライン 3V-S1-200A, 200B 3V-S1-200A, 200B	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	5.6	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分										
3V-S1-202A, 203A 3V-S1-202B, 203B 3V-S1-202C, 203C	VT-1	類似弁ごとに 1台の25%	8.4	VT-1 (漏えい時又は 取外し時)	類似弁ごと に1台分 に1台分										



# クラス2機器供用期間中検査

## 1. 余熱除去装置 (1/1)

検査用原子力設備規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所 第3号機 検査計画 (10ヵ年)										備考			
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	認識数	検査方法及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年		H33年	H34年	H35年
C1.10	C-A	制御胴と制御フランジとの周溶接継手	体積 1基の7.5%	2	UT 1基の7.5%	第21回全サイクル A 7.5%	第22回全サイクル	第23回全サイクル	第24回全サイクル	-	第25回全サイクル	第26回全サイクル	-	第27回全サイクル	(重大事故等クラス2機器)
C1.20	C-A	制御線と制御胴との溶接継手	体積 1基の7.5%	2	UT 1基の7.5%	A 7.5%				-					(重大事故等クラス2機器)
C2.21	C-B	制御入口管台及び制御出口管台と制御胴との溶接継手	体積及び表面 7.5%	4	UT PT 7.5% <sub>1</sub>					-	A1 (入口)				(重大事故等クラス2機器)



2. 配管 (2/5)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所 第3号機検査計画 (10か年)										備考								
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年		
05.11	C-F	配管の閉圧部分の溶接継手 (呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの) 溶接除去ポンプ入ロライン (2B, 4B, 318, 50mm) A, Bライン SJS高温側低圧注入ライン (6B, 10B, 267, 40mm) A, Bライン SJS低温側低圧注入ライン (6B, 10B, 165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン 格納容器再循環サンプ出口ライン (4B, 355, 60mm) A, Bライン																		
			検査又は表面	7.5%	62	PT	7.5% 5	A1						A1						
			検査及び表面	7.5%	17	UT PT	7.5% 2	A1 A1 (PT)										A1 (UT)		
			検査及び表面	7.5%	60	UT PT	7.5% 5	A1 B1 A1 (PT)							C1	B1			A1 (UT)	
			検査又は表面	7.5%	25	PT	7.5% 2			A1										

2. 配管 (3/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査の方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年		
								第27保安サイクル	第28保安サイクル	第29保安サイクル	第30保安サイクル	第31保安サイクル	第32保安サイクル	第33保安サイクル	-	第34保安サイクル	第35保安サイクル		
05.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの) SIS高温補助注入ライン (28.38.60.50mm.89.10mm) A..B..C..共通ライン SIS低温補助注入ライン (28.38.60.50mm.89.10mm) A..B..C..共通ライン 補助注入ライン (38.46.89.10mm)	表面	7.5%	119	P T	7.5% S	A1 B1		C1			共通2	B1	-	-	B1 共通1	C1	
			表面	7.5%	58	P T	7.5% S	A1				-	C1	共通1	-	-	共通1	共通1	
			表面	7.5%	32	P T	7.5% S	1				-	1	-	-	-	-	1	-
			表面	7.5%	65	P T	7.5% S	A1					-	B1	共通1	-	-	共通1	共通1
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手) SIS高温補助注入ライン (28.38.60.50mm.89.10mm) A..B..Cライン SIS低温補助注入ライン (28.38.60.50mm.89.10mm) A..B..Cライン SIS低温補助注入ライン (28.38.60.50mm.89.10mm) A..B..Cライン	表面	7.5%	18	P T	7.5% 2	A1							-	-	B1		
			表面	7.5%	9	P T	7.5% 1							C1	-	-	-	-	
			表面	7.5%	9	P T	7.5% 1									-	-	A1	(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	1	P T	7.5% 1					1					-	-	-
05.41	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50Aを超える、母管と管台及び母管と枝管) 補助注入ライン (38)	表面	7.5%	1	P T	7.5% 1								-	-	-	-	
			表面	7.5%	1	P T	7.5% 1							1	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

2. 配置 (4/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考									
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年 第21保安 サイクル	H28年 第22保安 サイクル	H29年 第23保安 サイクル	H30年 第24保安 サイクル		H31年 第25保安 サイクル	H32年 第26保安 サイクル	H33年 第27保安 サイクル	H34年 第28保安 サイクル	H35年 第29保安 サイクル	H36年 第30保安 サイクル			
F1.21	F-A	支持構造物																			
		余熱除去ポンプ吸入ロライン A、Bライン	VT-3	7.5% 4	52	VT-3	7.5% 4	A1					B1				A1	B1	(重大事故等クラス2機器)		
		余熱除去ポンプ出力ロライン A、Bライン	VT-3	7.5% 6	80	VT-3	7.5% 6	A1 B1					A1					A1	B1	(重大事故等クラス2機器)	
		SJS高濃縮低圧注入ライン Aライン	VT-3	7.5% 2	20	VT-3	7.5% 2						A1								
		SJS低濃縮低圧注入ライン A、B、Cライン	VT-3	7.5% 4	46	VT-3	7.5% 4							B1				C1	A1	(重大事故等クラス2機器)	
		補助注入ライン	VT-3	7.5% 2	23	VT-3	7.5% 2	1						1							
		充てん/高圧注入ポンプ出力ロライン	VT-3	7.5% 3	27	VT-3	7.5% 3	1						1				1		(重大事故等クラス2機器)	
		充てん/高圧注入ポンプ吸入ロライン	VT-3	7.5% 2	23	VT-3	7.5% 2	1											1		
		格納容器循環サンプ出力ロライン A、Bライン	VT-3	7.5% 2	16	VT-3	7.5% 2												A1	B1	(重大事故等クラス2機器)



2. 配置 (5/5)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H30年 第16保安 サイクル	H31年 第17保安 サイクル	H32年 第18保安 サイクル	H33年 第19保安 サイクル		H34年 第20保安 サイクル	H35年 第21保安 サイクル	H36年 第22保安 サイクル	H37年 第23保安 サイクル	H38年 第24保安 サイクル	H39年 第25保安 サイクル	
Fl.21	F-A	支持構造物																	
		SIS電源側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	83	VT-3	7.5%	C1	-	共通1	共通1	-	共通1	共通1	-	-	C1	共通2	
		SIS電源側補助注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	56	VT-3	7.5%		-	A1	A1	-	-	共通1	-	-	共通1	A1	
		SIS電源側ほろ筒注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%	59	VT-3	7.5%		-	A1	A1	-	共通1	-	-	A1	A1	(重大事故等クラス2機器)	

3. 余熱除去ポンプ (1/1)

余熱除去ポンプ (1/1)		高浜発電所 第3号機 検査計画 (10年間)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
06.10	C-g	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	PT	1台の7.5%	第21回全サイクル	第22回全サイクル	第23回全サイクル	第24回全サイクル	第25回全サイクル	第26回全サイクル	第27回全サイクル				
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5%		A1									(重大事故等クラス2機器) (重大事故等クラス2機器)

4. 弁 (1/2)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査の範囲 及び程度	検査方法	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高圧発電機第3号機検査計画 (10.7年)												備考	
		検査対象箇所	検査の範囲 及び程度						H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年				
F1.43	F-A	支持構造物	余熱除去ポンプ吸入ライン A. Bライン 3V-RH-041A 3V-RH-041B 余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン 3V-RH-024A 3V-RH-024B 余熱除去ポンプ吸入ライン A. Bライン 3POV-601 3POV-611 余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン 3HCV-603 3HCV-613 余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン 3FCV-604 3FCV-614 S I S低溫側低圧注入ライン A. Cライン 3V-SI-197A 3V-SI-197B S I S高溫側補助注入ライン 3V-SI-082 3V-SI-091 3V-SI-301 3V-SI-303 S I S低溫側補助注入ライン 3V-SI-094 3V-SI-302 S I S低溫側ほう酸注入ライン 3V-SI-042A 3V-SI-042B	類似井ごと に1台の 7.5%	VT-3	4	VT-3	類似井ごと に1台の 7.5%	H27年 第24保安 サイクル	H28年 第22保安 サイクル	H29年 第20保安 サイクル	H30年 第25保安 サイクル	H31年 第24保安 サイクル	H32年 第24保安 サイクル	H33年 第25保安 サイクル	H34年 第26保安 サイクル	H35年 第27保安 サイクル	H36年 第27保安 サイクル				

4. 非(2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H30年	H31年	H32年	H33年		H34年	H35年	H36年	H37年	H38年	H39年
F1.43	F-A	支持構造物																
		SIS高圧側低圧注入ライン Aライン 3W-SI-206 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 3W-SI-020A 3W-SI-020B	VT-3 VT-3	類似件ごと 7.5% 類似件ごと 7.5%	1 4	VT-3 VT-3	類似件ごと 7.5% 類似件ごと 7.5%											

5. クラスタ機器漏えい検査 (1/8)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)												備考 (漏えい区分)	
				運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 第1回保全 サイクル	H28年 第2回保全 サイクル	H29年 第3回保全 サイクル	H30年 第4回保全 サイクル	H31年 第5回保全 サイクル	H32年 第6回保全 サイクル	H33年 第7回保全 サイクル	H34年 第8回保全 サイクル	H35年 第9回保全 サイクル		H36年 第10回保全 サイクル
		化学体積制御系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	0.11	0.11	VT-2											
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2											
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2											
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	抽出ライン(1)	VT-2	15.41	15.41	VT-2											
		抽出ライン(2)	VT-2	2.16	2.16	VT-2											
		抽出ライン(3)	VT-2	0.46	0.46	VT-2											
C7.30 C7.70	C-H	封水戻りライン(PEN#217)	VT-2	0.20	0.20	VT-2											
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	体積制御タンク入ロライン	VT-2	0.19	0.19	VT-2											
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	ほう酸ポンプ出ロライン	VT-2	0.71	0.71	VT-2											

5. クラスタ機器運搬検査(2/8)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JISME S MA1-2008	運搬検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)	
								H27年 第21回 サイクル	H28年 第22回 サイクル	H29年 第23回 サイクル	H30年 第24回 サイクル	H31年 第25回 サイクル	H32年 第26回 サイクル	H33年 第27回 サイクル	H34年 第28回 サイクル	H35年 第29回 サイクル	H36年 第30回 サイクル		
			余熱除去系統																
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2												(3-11)
			B-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2												(3-12)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2												(3-13)
			B-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2												(3-14)
			燃料取替用水系統																
C7.30 C7.70	C-H		燃料取替用水タンク出ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2												(3-15)
C7.30 C7.70	C-H		燃料取替用水タンク原子研キャビティ連絡ライン(PEN#222)	VT-2	0.14	0.14	VT-2												(3-41)

5. クラスタ機器漏えい検査 (3/8)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所 第3号機 検査計画 (10年間)										備考 (漏えい区分)		
							H27年 第21回 サイクル	H28年 第22回 サイクル	H30年 第23回 サイクル	H31年 第24回 サイクル	H32年 第25回 サイクル	H33年 第26回 サイクル	H34年 第27回 サイクル	H35年 第28回 サイクル	H36年 第29回 サイクル				
		安全注入系統																	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入ロライン	VT-2	4.22	4.22	VT-2		○											一部又は全部を気圧により検査 (3-16)
		ほう酸注入タンク及び出入ロライン	VT-2	8.00	8.00	VT-2				○									(3-17)
		蓄圧タンク注入ライン(PEN#216)	VT-2	4.40	4.40	VT-2													(3-43)
		蓄圧タンクホストライン(PEN#227)	VT-2	6.90	6.90	VT-2													(3-44)
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	8.00	8.00	VT-2							○						(3-19)
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(3)	VT-2	8.00	8.00	VT-2							○						(3-20)
		充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(4)	VT-2	8.00	8.00	VT-2													(3-21)
		格納容器再循環サンパ出ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2													(3-22)
		格納容器スプレイ系統																	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク及び出入ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2							○						一部又は全部を気圧により検査 (3-23)
		よう素除去薬品タンク出ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2							○						(3-85)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2								○					(3-24)
		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2										○			(3-25)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2										○			(3-26)
		B-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2											○		(3-27)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.64	1.64	VT-2		○											(3-28)
		格納容器再循環サンパ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2											○		(3-29)

5. クラスタ機器漏えい検査 (4/8)		高圧発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)		
発電用原子力設備規格(2008年版) JSME S NA1-2008														
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 H28年 H29年 H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
							第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル	
		主給水系統												
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2			○		-			(3-30)
		B-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2				○				(3-31)
		主蒸気系統												
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器出ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2			○		-			(3-33)
		B-蒸気発生器出ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2				○				(3-34)
		1次系補給水系統												
C7.30 C7.70	C-H	加圧器達がしタンクPMW供給ライン(PEN#279)	VT-2	0.80	0.80	VT-2					-			(3-38)
		1次系補給水ライン(PEN#268)	VT-2	0.60	0.60	VT-2					-			(3-86)
		廃棄物処理系統												
		蓄圧タンク窒素充てんライン(PEN#218)	VT-2	4.40	4.40	VT-2					○			一部又は全部を気圧により検査 (3-42)
C7.30 C7.70	C-H	格納器器冷却材ドレンポンプ出ロライン(PEN#225)	VT-2	0.70	0.70	VT-2					○			(3-83)
		格納器器ポンプ出ロライン(PEN#234)	VT-2	0.15	0.15	VT-2					○			(3-84)



5. クラスタ機器漏えい検査(5/8)		高圧発電所第3号機検査計画(10年間)											備考 (漏えい区分)			
発電用原子力設備規格(2008年版) JSME S NA1-2008																
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 第21回全 サイクル	H28年 第22回全 サイクル	H30年 第23回全 サイクル	H31年 第24回全 サイクル	H32年 第25回全 サイクル	H33年 第26回全 サイクル	H34年 第27回全 サイクル	H35年 第28回全 サイクル	H36年 第29回全 サイクル	
		蒸気発生器ブローダウンスystem														
		A-蒸気発生器ブローダウンスystem(PEN#319)	VT-2	4.80	4.80	VT-2										(3-45-1)
C7.30 C7.70	C-H	B-蒸気発生器ブローダウンスystem(PEN#318)	VT-2	4.80	4.80	VT-2										(3-45-2)
		C-蒸気発生器ブローダウンスystem(PEN#317)	VT-2	4.80	4.80	VT-2										(3-45-3)
		試料採取system														
		A-蒸気発生器ブローダウンスystem(PEN#259L)	VT-2	4.80	4.80	VT-2										(3-46-1)
		B-蒸気発生器ブローダウンスystem(PEN#259M)	VT-2	4.80	4.80	VT-2										(3-46-2)
		C-蒸気発生器ブローダウンスystem(PEN#259R)	VT-2	4.80	4.80	VT-2										(3-46-3)
C7.30 C7.70	C-H	加圧凝縮器サンプラライン(PEN#231R)	VT-2	15.41	15.41	VT-2										(3-60)
		加圧凝縮器・Bループ高温側サンプラライン(PEN#231M)	VT-2	15.41	15.41	VT-2										(3-61)
		Aループ高温側サンプラライン(PEN#235)	VT-2	15.41	15.41	VT-2										(3-64)
		蓄圧タンクサンプラライン(PEN#231L)	VT-2	4.40	4.40	VT-2										(3-65)

5. クラスタ機器漏えい検査 (6/8)		高圧発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)												備考 (漏えい区分)			
発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年版) JSME S NA1-2008																	
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 第21回全 サイクル	H28年 第22回全 サイクル	H29年 第23回全 サイクル	H30年 第24回全 サイクル	H31年 -	H32年 第25回全 サイクル	H33年 第26回全 サイクル	H34年 -	H35年 第27回全 サイクル	H36年 第28回全 サイクル	
		原子炉補機冷却水系統															
		CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン (PEN#313)	VT-2	0.60	0.60	VT-2											(3-56)
		CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン (PEN#314)	VT-2	0.07	0.07	VT-2											(3-57)
		RCP冷却水入ロライン (PEN#312)	VT-2	0.50	0.50	VT-2			○								(3-58)
		RCP冷却水出ロライン (PEN#311)	VT-2	0.07	0.07	VT-2			○								(3-59)
		A-B-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン (PEN#255)	VT-2	0.60	0.60	VT-2			○								(3-87)
		A-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン (PEN#256)	VT-2	0.50	0.50	VT-2			○								(3-88)
		B-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン (PEN#257)	VT-2	0.50	0.50	VT-2							○				(3-89)
		C-D-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン (PEN#229)	VT-2	0.60	0.60	VT-2							○				(3-90)
		C-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン (PEN#230)	VT-2	0.50	0.50	VT-2							○				(3-91)
		D-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン (PEN#232)	VT-2	0.50	0.50	VT-2											(3-92)
		DRPI塞冷却ユニット冷却水入ロライン (PEN#274)	VT-2	0.25	0.25	VT-2											(3-93)
		DRPI塞冷却ユニット冷却水出ロライン (PEN#275)	VT-2	0.25	0.25	VT-2										○	(3-94)

5. クラスタ機器漏えい検査 (7/8)

発動用原子力設備規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高圧発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 第21回全 サイクル	H28年 第22回全 サイクル	H29年 第23回全 サイクル	H30年 第24回全 サイクル	H31年 -	H32年 第25回全 サイクル	H33年 第26回全 サイクル	H34年 -	H35年 第27回全 サイクル	H36年 第28回全 サイクル	
		空気系統															
		制御用空気ライン (PEN#260)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	○			-				-			一部又は全部を気圧により検査 (3-74)
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1) (PEN#262)	VT-2	0.66	0.66	VT-2	○			-				-			一部又は全部を気圧により検査 (3-75)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2) (PEN#284)	VT-2	0.66	0.66	VT-2		○		-				-			一部又は全部を気圧により検査 (3-76)
		所内用空気供給ライン (PEN#265)	VT-2	0.71	0.71	VT-2		○		-				-			一部又は全部を気圧により検査 (3-77)
		消火水系統															
C7.30 C7.70	C-H	消火水ライン (PEN#271)	VT-2	1.30	1.30	VT-2	○			-				-			(3-78)
		炭酸ガス系統															
C7.30 C7.70	C-H	CO2消火ライン (PEN#316)	VT-2	4.40	4.40	VT-2				-			○	-			一部又は全部を気圧により検査 (3-79)

3. クラス2機器運入検査 (8/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所 第3号機 検査計画 (10ヶ年)										備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H30年 第23回全 サイクル	H31年 第24回全 サイクル	H32年 第25回全 サイクル	H33年 第26回全 サイクル	H34年 第27回全 サイクル	H35年 第28回全 サイクル	H36年 第29回全 サイクル	H37年 第30回全 サイクル	H38年 第31回全 サイクル	H39年 第32回全 サイクル
		化学体積制御系統														
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	○	(3-4)
		安全注入系統														
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(1)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	○	(3-18)
		主給水系統														
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	○	(3-32)
		主蒸気系統														
C7.30 C7.70	C-H	C-蒸気発生器出口ロライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	○	(3-35)

# クラス3 機器供用期間中検査

## 1. 余熱除去冷却器(胴側) (1/1)

項目番号		検査対象箇所		検査の範囲及び程度		検査方法		検査の範囲及び程度		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)							備考			
カテゴリー		検査対象箇所		検査の範囲及び程度		検査方法		検査の範囲及び程度		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	備考
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手		1基の7.5%	VT-3	VT-3	1基の7.5% 1	4	VT-3		A1									
F1.44	F-A	支持脚		1基の7.5%	VT-3	VT-3	1基の7.5% 1	4	VT-3		A1									

## 2. 格納容器スプレイ冷却器 (胴側) (1/1)

項目番号		検査対象箇所		検査の範囲及び程度		検査方法		検査の範囲及び程度		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)							備考			
カテゴリー		検査対象箇所		検査の範囲及び程度		検査方法		検査の範囲及び程度		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	備考
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手		1基の7.5%	VT-3	VT-3	1基の7.5% 1	4	VT-3					A1						
F1.44	F-A	支持脚		1基の7.5%	VT-3	VT-3	1基の7.5% 1	4	VT-3					A1						

3.原子炉補機冷却水冷却器 (1/1)

発電用原子炉設備規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年
D1.10	胴と当板との溶接継手	VT-3	1基の7.5%	8	1基の7.5% 1			第21保全 サイクル		第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	-
F1.44	支持脚	VT-3	1基の7.5%	8	1基の7.5% 1					A1		-			-

4.非常用ディーゼル発電機清水冷却器 (1/1)

発電用原子炉設備規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年
D1.10	胴と補強板との溶接継手	VT-3	1基の7.5%	4	1基の7.5% 1					第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	-
F1.44	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	1基の7.5% 1						A1	-			-

5.非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器 (1/1)

発電用原子炉設備規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
項目番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年
D1.10	胴と補強板との溶接継手	VT-3	1基の7.5%	4	1基の7.5% 1					第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	-
F1.44	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	1基の7.5% 1							-		A1	-

6. 配管 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
					検査の範囲及び程度	検査方法	設備数	検査の範囲及び程度	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年
D1.20	D-A	配管の支持部材取付け溶接継手 原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	78	VT-3	7.5% 6	1	第21保全サイクル	1	第22保全サイクル	1	第23保全サイクル	-	2	1	-	-
F1.31	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	414	VT-3	7.5% 32	7	-	4	8	-	8	-	5	-	-	-

7.原子炉補機冷却水ポンプ (1/1)

項目番号	カナコリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考		
								H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年			
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	1台の7.5%	20	VT-3	1台の7.5% 1						第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル		



8. 弁 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考		
							H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年			
F1.31	F-A	支持構造物																	
		原子炉補機冷却水系統																	
		3TCV-2342A	VT-3	1台の7.5%	4	1台の7.5%	VT-3	1台の7.5%											
		3TCV-2342B 3TCV-2342C 3TCV-2342D	VT-3	1台の7.5%	4	1台の7.5%	VT-3	1台の7.5%											
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	1台の7.5%	4	1台の7.5%	VT-3	1台の7.5%											
		3V-CC-043 3V-CC-044	VT-3	1台の7.5%	4	1台の7.5%	VT-3	1台の7.5%											

9. クラス3機器漏えい検査 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S N A1-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	
		使用済燃料ピット冷却浄化・燃料検査ピット水移送系						第21保全 サイクル			第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	-	
D2.30	D-B	使用済燃料ピットポンプ入口ライン	VT-2	0.10	0.10	VT-2	○						-			-	(4-1)
D2.10 D2.30	D-B	A-使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2	○						-			-	(4-2)
		B-使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2	○						-			-	(4-3)
		原子炉補機冷却水系統															
		A, B, C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2	○						-			-	(4-4)
		D, E-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2				○			-			-	(4-5)
D2.10 D2.30	D-B	原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT-2	0.80	0.80	VT-2						○	-			-	(4-6)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.80	0.80	VT-2						○	-			-	(4-7)
		原子炉補機冷却海水系統															
		A-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2					○		-			-	(4-8)
D2.10 D2.30	D-B	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2						○	-			-	(4-9)
		C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2						○	-			-	(4-10)

9. クラス3機器漏えい検査 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年)										備考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年		
							第21係全 サイクル						第23係全 サイクル	-	第24係全 サイクル	第25係全 サイクル		-
		制御用空気系統																
D2.10 D2.30	D-B	A-格納容器内制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-	○		-	(4-11)	
		B-格納容器内制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-		○	-	(4-12)	
		A-格納容器外制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-	○		-	(4-13)	
		B-格納容器外制御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-		○	-	(4-14)	
		ディーゼル発電機始動用空気系統																
D2.10 D2.30	D-B	A-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	2.65	2.65	VT-2							-		○	-	(4-15)	
		B-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	2.65	2.65	VT-2							-		○	-	(4-16)	

# 供用期間中特別検査のうちクラス1 機器Ni基合金使用部位特別検査

## 1. 原子炉容器 (1/1)

項目 番号	カテゴリー	NRA文書※1			高浜発電所第3号機検査計画 (7ヵ年)							備考		
		検査対象箇所	検査 方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査 方法	検査の範囲 及び程度	H30年 第29保全 サイクル	H31年 -	H32年 第24保全 サイクル	H33年 第25保全 サイクル		H34年 -	H35年 第26保全 サイクル
-	-	600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。)	BMV	100%										
		底部表面 (計測用管台)	BMV	100%	50	EMV	100% 50	50	-	-	50	-	-	-

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

# 供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査

## 検査間隔延長プログラム

項目番号	カテゴリ	NISA文書※1										高浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）				備考					
		検査対象箇所	検査方法及び程度	設備数	検査方法及び程度	H21年 第18回	H22年 第20回 サイクル	H23年 -	H24年 -	H25年 第21回 サイクル	H26年 -	H27年 -	H28年 第22回 サイクル	H29年 第23回 サイクル	H30年 第24回 サイクル		H31年 -	H32年 第25回 サイクル	H33年 第26回 サイクル		
-	-	配管の耐圧部分の溶接継手																			
		抽出ライン (3B)	体積	25%	18箇所	UT	25% 5	2	-										2		
		充てんライン (3B)	体積	25%	61箇所	UT	25% 16	2	-											7	(重大事故等クラス2機器)
		再生熱交換器連絡管(3B)																			
-	-	抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% 3		1	-										1	
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% 3		1	-										1	

※1：平成26年8月6日以降は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における放射線引き起こす危険その他の欠陥の解釈」（原規技発第1408063号（平成26年8月6日原子力規制委員会決定））を適用する。

# 原子炉格納容器供用期間中検査

## 1. 原子炉格納容器(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考			
					設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年		H36年	H37年	H38年
E8.10	E-G	機器搬入口圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	72	VT-4	25% 18	第22保全サイクル	第23保全サイクル	-	第24保全サイクル	第25保全サイクル	-	第26保全サイクル	第27保全サイクル	-	第28保全サイクル	

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(1/2)

検査用原子炉設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法 検査の範囲 及び程度	
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積 5%	
		下部胴とトランジションとの周溶接継手	体積 5%	
		トランジションリングと下部胴板との周溶接継手	体積 5%	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	可能範囲 100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	可能範囲 各100%	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	可能範囲 各100%	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び 表面 可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手(呼び径100A以上)	体積及び 表面 可能範囲 各100%	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1 100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積 100%	
B6.40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積 100%	
B6.50	B-G-1	ワッシャ	VT-1 100%	
B7.10	B-G-2	マーマカンカップリング	VT-1 25%	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(2/2)		発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎		
G1.40	G-P-1	上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%		
		炉心内部取付物	VT-3	全範囲の7.5%		
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%		
		下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の7.5%		
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は表面	最外周の25%		
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)				
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%		
F1.41	F-A	支持構造物 (サポートフレーム、基礎ボルト)	VT-3	25%		



重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器(1/1)

検査用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡板との間継手	体積 5%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
		下部胴と下部鏡板との間継手	体積 5%	
B2.12	B-B	上部胴の長手継手	体積 各10%	
		下部胴の長手継手	体積 各10%	
B2.13	B-B	上部胴と下部胴との間継手	体積 5%	
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積 25%	
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積 25%	
B5.40	B-F	管台とサーフェイエントの溶接継手 (呼び径100A以上)		
		加圧器溢がし弁管台		
		加圧器安全弁管台	体積及び表面 25%	
		加圧器スプレイ管台		
		加圧器サージ管台		
B7.20	B-G-2	マンホールへの取付けボルト	V T-1 25%	
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカーポート溶接継手)	表面 7.5%	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	V T-2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (スカーポート、基礎ボルト)	V T-3 25%	

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

3. 蒸気発生器 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査の範囲	
B2.40	B-B	管板と水室壁との溶接継手	体積 1基の25%	
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積 1基の25%	
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上)	体積及び表面 1基の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	VT-1 1基の25%	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3 1基の25%	

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

4. 配管 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度
89.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上)		
		1次冷却材管 (27.51INID, 636.00mm, 291INID, 311INID)	体積	25%
		A. B. Cグループ		
		加圧器サージ管 (14B, 355.60mm)	体積	25%
		加圧器安全弁ライン (6B)	体積	25%
		A. B. Cライン		
		加圧器送がし弁ライン (6B)	体積	25%
		余熱除去ポンプ入口ロライン (12B)	体積	25%
		B. Cグループ		
		S I S蓄圧注入ライン (12B, 318.50mm)	体積	25%
A. B. Cグループ				
S I S低温側低圧注入ライン (6B)	体積	25%		
A. B. Cグループ				
89.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)		
		加圧器送がし弁ライン (3B)	表面	25%
		余熱除去ポンプ入口ロライン (12B)	表面	25%
		B. Cグループ		
		C V C S 充てんライン (3B, 89.10mm)	表面	25%
		Bグループ		

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
88.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)		
		SIS低溫側ほう融注ライン (2B, 60, 50mm) A, B, Cグループ	表面	25%
88.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)		
		1次冷却材管 (4B, 6B, 12B, 14B) A, B, Cグループ	体積	25%
88.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)		
		1次冷却材管 (2B, 3B, 6B, 50mm) A, B, Cグループ	表面	25%
		余熱除去ポンプ入口ライン (12B) B, Cグループ	表面	25%
		SIS低溫側ほう融注ライン (2B) A, B, Cグループ	表面	25%
		ソケット溶接継手		
88.40	B-J	SIS低溫側ほう融注ライン (2B) A, B, Cグループ	表面	25%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管 (3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高圧発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査の範囲	
B15.50	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲 100%	
F1.10	F-A	支持構造物		クラス1機器供用期間中検査で管理
		加圧器サージ管	VT-3 25%	
		加圧器透かし弁ライン	VT-3 25%	
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B、Cループ	VT-3 25%	
		CVC5充てんライン Bループ	VT-3 25%	
		SIS高圧注入ライン A、B、Cループ	VT-3 25%	
		SIS低温側低圧注入ライン A、B、Cループ	VT-3 25%	
		SIS低温側ほう酸注入ライン A、B、Cループ	VT-3 25%	

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (クラス1 機器供用期間中検査範囲)

5. 1 次冷却材ポンプ(1ノ1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
B6.180	B-Q-1	スタッドボルト	体積	1台の25%
B6.190	B-Q-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%
B6.200	B-Q-1	ナット	VT-1	1台の25%
		ワッシャ	VT-1	1台の25%
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1台の25%

クラス1 機器供用期間中検査で管理

ポンプ分解点検時に実施

ポンプ分解点検時に実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 井 (1/2)

検査対象箇所		検査方法	検査の範囲 及び程度	
項目番号 B7.70	カテゴリー B-C-2	検査対象箇所 高浜発電所第3号機検査計画	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)		
		加圧器安全弁ライン A. B. Cライン 3V-R0-055 3V-R0-056 3V-R0-057	V T-1	類似井ごとに 1台の25%
		加圧器逃がし弁ライン 3V-R0-054A 3V-R0-054B 3V-R0-054C	V T-1	類似井ごとに 1台の25%
		3P0V-455A 3P0V-455B 3P0V-454C	V T-1	類似井ごとに 1台の25%
		C V C S 充てんライン B ループ 3V-CS-233 3V-CS-234	V T-1	類似井ごとに 1台の25%
		余熱除去ポンプ吸入ライン B. C ループ 3P0V-420 3P0V-430	V T-1	類似井ごとに 1台の25%
		3V-RH-002A 3V-RH-003B	V T-1	類似井ごとに 1台の25%
		S I S 蓄圧注入ライン A. B. C ループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C	V T-1	類似井ごとに 1台の25%
		S I S 低溫側低圧注入ライン A. B. C ループ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C	V T-1	類似井ごとに 1台の25%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 弁 (2/2)

検査用原子力設備規格 維持規格 (2008年改訂版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度
B12.50	B-W-2	弁本体の内表面		
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	VT-3	類似弁ごとに 1
		糸鋸除去ポンプ吸入ロライン B, Cループ	VT-3	類似弁ごとに 1
		3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似弁ごとに 1
B15.70	B-P	SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ	VT-3	類似弁ごとに 1
		3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C	VT-3	類似弁ごとに 1
		SIS低温側圧注入ライン A, B, Cループ	VT-3	類似弁ごとに 1
		3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C	VT-3	類似弁ごとに 1
B15.70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%
F1.41	F-A	支持構造物		
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%
		3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%
		3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%
		糸鋸除去ポンプ吸入ロライン B, Cループ	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%
3V-RH-003A 3V-RH-003B	VT-3	類似弁ごとに 1台の25%		

クラス1機器供用期間中検査で管理



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器N:基金使用部位特別検査範囲)

1. 原子炉容器 (1/1)

項目 番号	カテゴリー	検査対象箇所	検査 方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所第3号機検査計画	
					備考	
—	—	600系M:基金令製の上蓋及び底部表面(600系N:基金令製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。) [底部表面(計測管台)]	BMV	100%	クラス1機器N:基金使用部位特別検査で管理	

※1:「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の検察」(原規技参第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

項目 番号	カテ ゴリ	NRA文書※1		検査の範囲 及び程度	備考	
		検査対象箇所	検査 方法			
-	-	配管の耐圧部分の溶接継手		クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理		
		充てんライン (3B)	体積			25%
		再生熱交換器連絡管 (3B)				
		充てんライン連絡管	体積			25%

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電装その他の欠陥の解釈」（原規技発第140803号（平成26年8月6日原子力規制委員会決定））

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1. 格納容器スプレッド射線管制 (1/1)

発電用原子炉設備規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所 第3号 機械検査計画 (10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C1.10	C-A	管側脚と管側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%											
C1.20	C-A	管側脚と管側脚との周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%											

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
2. 糸鋸除去冷却器制御 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積 1基の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
C1.20	C-A	管側胴と管側胴との溶接継手	体積 1基の7.5%	
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び面 7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NMI-2008		高浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年		H32年	H33年	H34年	H35年	H36年		
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手 格納容器再循環サブ出口ライン (355,60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統)	表面	7.5%	2	PT	7.5% <sub>1</sub>		A1										
C5.11	C-F	配管の前圧部分の溶接継手 (呼び径100 Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの) 格納容器再循環サブ出口ライン (14B, 355,60mm) Aライン (格納容器スプレイ系統) 格納容器スプレイポンプ入口ライン (14B, 355,60mm) A、Bライン	体積又は表面	7.5%	6	PT	7.5% <sub>1</sub>				A1								
F1.21	F-A	支持構造物																	
		SIS高温側低圧注入ライン Aライン	VT-3	7.5%	3	VT-3	7.5% <sub>1</sub>					A1							
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	22	VT-3	7.5% <sub>2</sub>					1							
		原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライン	VT-3	7.5%	129	VT-3	7.5% <sub>1,0</sub>			4								3	
		格納容器再循環サブ出口ライン Aライン (格納容器スプレイ系統)	VT-3	7.5%	1	VT-3	7.5% <sub>1</sub>											A1	
		格納容器スプレイポンプ入口ライン Aライン	VT-3	7.5%	7	VT-3	7.5% <sub>1</sub>											A1	
		格納容器スプレイポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	7.5%	10	VT-3	7.5% <sub>1</sub>											A1	
		格納容器スプレイ冷却器出口ライン A、Bライン	VT-3	7.5%	19	VT-3	7.5% <sub>2</sub>						A1					B1	
		格納容器スプレイ系統余熱除去系統 連絡ライン	VT-3	7.5%	13	VT-3	7.5% <sub>1</sub>						1						
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	20	VT-3	7.5% <sub>2</sub>						1						1
可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	2	VT-3	7.5% <sub>1</sub>												1		
アンユラス空気浄化ライン	VT-3	7.5%	59	VT-3	7.5% <sub>5</sub>												B2		
																		A2	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S IMAI-2008		高 兵 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法 検査の範囲 及び程度	
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手		
		余熱除去ポンプ入口ライン (318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	表面	7. 5%
		余熱除去ポンプ出口ライン (267, 40mm) A, Bライン	表面	7. 5%
		S.I.S低溫側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	表面	7. 5%
		S.I.S低溫側ほう酸注入ライン (89, 10mm) 共通ライン	表面	7. 5%
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン (216, 30mm)	表面	7. 5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表面	7. 5%
		1次冷却配管低溫側高圧注入ライン (30, 6mm) ほう酸注入タンク出口側	表面	7. 5%
		格納容器再循環サンプ出口ライン (355, 60mm) A, Bライン (余熱除去系統)	表面	7. 5%
		配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径10 O.A.を超え公称肉厚9.5mmを超える もの)		
C5.11	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン (12B, 14B, 318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	体積又は 表面	7. 5%
		S.I.S低溫側低圧注入ライン (68, 10B, 165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	体積及び 表面	7. 5%
		格納容器再循環サンプ出口ライン (14F, 355, 60mm) A, Bライン (余熱除去系統)	体積又は 表面	7. 5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画		備 考
項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
05.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50mm以下、0.0A以下で本鋼肉厚5mmを越えるもの)		
		SIS低溫側ほう融注入ライン (2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%
05.30	C-F	充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%
		配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手)		
05.41	C-F	SIS低溫側ほう融注入ライン (2B), A, B, Cライン	表面	7.5%
		配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50mmを越える、母管と管台及び母管と枝管)		
F1.21	F-A	充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (3B)	表面	7.5%
		支持構造物		
		余熱除去ポンプ入口ライン A, Bライン	VT-3	7.5%
		余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン	VT-3	7.5%
		SIS低溫側ほう融注入ライン A, B, Cライン	VT-3	7.5%
		SIS低溫側ほう融注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%
		格納容器再循環ヤンブ出口ライン A, Bライン(余熱除去系統)	VT-3	7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

4. 格納容器スプレイポンプ (1/1)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)										備考
								H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
C6.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	4	P T	1台の7.5% 1	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	-	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル		
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	V T-3	1台の7.5%	4	V T-3	1台の7.5% 1		A 1									



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

5. 糸鋸除去ポンプ (1/1)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所第3号機検査計画	備考
C6.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
 6. 原子炉補機冷却水泵(1/1)

		高浜発電所 第3号 機 検 査 計 画 (10か年)								備 考						
発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年版) JSME S IM1-2008		H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年		H35年	H36年				
項目 番号	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	H27年 第21保全 サイクル	H28年 第22保全 サイクル	H29年 第23保全 サイクル	H30年 第24保全 サイクル	H31年 -	H32年 第24保全 サイクル	H33年 第25保全 サイクル	H34年 -	H35年 第26保全 サイクル	H36年 第27保全 サイクル
F1.43	F-A ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	12	VT-3	1台の7.5% 1							A1	-	-	対象はA、B、C原子炉補機冷却水泵

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

7. 恒設代替低圧注水ポンプ (1/1)

項目 番号	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高浜発電所 第3号機 検査計画 (10ヵ年)										備考
								H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
F1.43		ポンプの台板脚	VT-3	1台の7.5%	2	VT-3	1台の7.5%	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	-	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	-	第26保全 サイクル	第27保全 サイクル		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

8. 弁 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
F1.43	F-A	支持構造物																
		原子炉補機冷却ポンプ出入口ライン 3V-10V-2342A 3V-10V-2342B 格納容器スプレイ系統系熱除去系 統運船ライン 3V-RH-100 3V-RH-101	VT-3 VT-3 VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5%	2 2	VT-3 VT-3	類似弁ごとに1台の7.5% 類似弁ごとに1台の7.5%		第21保全サイクル	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

8. 弁 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第3号機検査計画	備考
F1.43	F-A	支持構造物			クラス2機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ吸入ロライン A, Bライン	VT-3	類似件ごとに1台の7.5%		
		3W-RH-041A 3W-RH-041B				
		余熱除去ポンプ出口ロライン A, Bライン	VT-3	類似件ごとに1台の7.5%		
		3W-RH-024A 3W-RH-024B				
		余熱除去ポンプ出口ロライン A, Bライン	VT-3	類似件ごとに1台の7.5%		
		3PCV-601 3PCV-611				
		余熱除去ポンプ出口ロライン A, Bライン	VT-3	類似件ごとに1台の7.5%		
		3PCV-603 3PCV-613				
		余熱除去ポンプ出口ロライン A, Bライン	VT-3	類似件ごとに1台の7.5%		
		3FCV-604 3FCV-614				
		SIS低温側低圧注入ロライン A, Cライン	VT-3	類似件ごとに1台の7.5%		
3W-SI-197A 3W-SI-197B						
SIS低温側ほう酸注入ロライン A, Bライン	VT-3	類似件ごとに1台の7.5%				
3W-SI-042A 3W-SI-042B						
充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-3	類似件ごとに1台の7.5%				
3W-SI-023A 3W-SI-023B						

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査 (1/4)

検査用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高圧発電所第3号機検査計画(10年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 第21保全 サイクル	H28年 第22保全 サイクル	H29年 第23保全 サイクル	H30年 第24保全 サイクル	H31年 第24保全 サイクル	H32年 第25保全 サイクル	H33年 第26保全 サイクル	H34年 第27保全 サイクル	H35年 第28保全 サイクル	H36年 第29保全 サイクル	
		化学体積制御系統															
C7/30 C7/70	C-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2											(SA-1)
C7/10 C7/30 C7/50 C7/70	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2											(SA-2)
C7/30 C7/50 C7/70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2											(SA-3)
C7/30 C7/50 C7/70	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2											(SA-4)
C7/10 C7/30 C7/50 C7/70	C-H	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											(SA-5)
C7/10 C7/30 C7/50 C7/70	C-H	ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2											(SA-6)
C7/30 C7/70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注 入ポンプ出口側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2											(SA-7)
C7/30 C7/70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注 入ポンプ入口側)	VT-2	1.4	1.4	VT-2											(SA-8)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
9. クラス2機器漏えい検査 (2/4)

検査用原子力設備規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高圧発電所第3号機検査計画 (10年)										備考 (漏えい区分)					
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 第21回全 サイクル	H28年 第22回全 サイクル	H29年 第23回全 サイクル	H30年 第24回全 サイクル	H31年 第25回全 サイクル	H32年 第26回全 サイクル	H33年 第27回全 サイクル	H34年 第28回全 サイクル	H35年 第29回全 サイクル	H36年 第30回全 サイクル	
		余熱除去系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ入口ライン B-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2 VT-2	4.1 4.1	4.1 4.1	VT-2 VT-2											(SA-9) (SA-10)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ出口ライン B-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2 VT-2	4.1 4.1	4.1 4.1	VT-2 VT-2											(SA-11) (SA-12)
		燃料取替用水系統															
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク出口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											(SA-13)
		安全注入系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入ロライン ほう酸注入タンク及び出入ロライン	VT-2 VT-2	4.9 18.8	4.9 18.8	VT-2 VT-2											(SA-14) (SA-15)
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2) 特納容器再循環ポンプ出口ライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2 VT-2	17.16 4.1	17.16 4.1	VT-2 VT-2											(SA-16) (SA-17)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器重たい検査 (3/4)

炉用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高圧発電所第3号機検査計画(10年)										備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 第21回 サイクル	H28年 第22回 サイクル	H30年 第23回 サイクル	H31年 第24回 サイクル	H32年 第25回 サイクル		H33年 第26回 サイクル	H34年 第27回 サイクル	H35年 第28回 サイクル	H36年 第29回 サイクル
		格納容器スプレイ系統														
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2										(SA-18)
		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2										(SA-19)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2										(SA-20)
		B-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2										(SA-21)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2										(SA-22)
		格納容器再循環サブ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	0.35	0.35	VT-2										(SA-23)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2										(SA-24)
		恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2										(SA-25)
C7.30 C7.70	C-H	可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2										(SA-26)
		換気空調装置系統														
C7.30 C7.70	C-H	アニュラス空気浄化ライン	VT-2	0.01	0.01	VT-2										(SA-27)
		中央制御室換気空調設備入ロライン	VT-2	-0.00392	-	(*)										(SA-56)
C7.30	C-H	中央制御室換気空調設備出ロライン	VT-2	0.00392	-	(*)										(SA-57)

(\*) 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施  
 (\*\*) 分割して外観点検を実施



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
9. クラス2機器漏えい検査 (4/4)

発電用原子力設備規格 (2008年版) JSME S MM1-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10ヶ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S/A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年		H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
		原子炉補機冷却水系統					第1保安 サイクル			第24保安 サイクル							
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2 VT-2 VT-2	0.98 0.98 0.98	0.98 0.98 0.98	VT-2 VT-2 VT-2					-	第24保安 サイクル	第25保安 サイクル	-	第26保安 サイクル	第27保安 サイクル	(SA-42) (SA-43) (SA-44)
C7.30 C7.70	C-H	B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補機冷却 水側) 空気系統	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-	第24保安 サイクル					(SA-45)
		制御用空気加圧器遮がし弁用供給ライン(1)	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-	第24保安 サイクル					(SA-53)
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気加圧器遮がし弁用供給ライン(2)	VT-2	0.98	0.98	VT-2					-	第24保安 サイクル					(SA-54)
		アニュラスタンバ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2				○	-						(SA-55)
		補助給水系統															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ出口ロライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				○	-						(SA-40)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1.0. 原子炉補機冷却水冷却器廻轉 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第3号機検査計画 (10ヶ年)										備考	
							H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年		
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
		胴側胴の周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%	-	-	-	-	A 7.5%	-	-	-	-	-	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
C3.10	C-C	胴と当接との溶接継手	表面	1基の7.5%	4	PT	1基の7.5%	-	-	-	-	A1	-	-	-	-	-	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
F1.43	F-A	支持脚	V T - 3	1基の7.5%	4	V T - 3	1基の7.5%	-	-	-	-	A1	-	-	-	-	-	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1.1. クラス2機器漏えい検査 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 H27年 第21回全 サイクル	H28年 H28年 第22回全 サイクル	H29年 H29年 第23回全 サイクル	H30年 H30年 第24回全 サイクル	H31年 H31年 第25回全 サイクル	H32年 H32年 第26回全 サイクル	H33年 H33年 第27回全 サイクル	H34年 H34年 第28回全 サイクル	H35年 H35年 第29回全 サイクル	H36年 H36年 第30回全 サイクル	
		主給水系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					○						(SA-28)
		B-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					○						(SA-29)
		C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2									○		(SA-30)
		主蒸気系統															
		A-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2						○					(SA-31)
		B-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2							○				(SA-32)
		C-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2										○	(SA-33)
		補助給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ蒸気ライン	VT-2	8	8	VT-2							○				(SA-34)
		タービン動補助給水ポンプ・燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											(SA-35)
		タービン動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2											(SA-36)
		電動補助給水ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2											(SA-37)
		電動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2											(SA-38)
		補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	8.6	8.6	VT-2											(SA-39)
		2次系補助給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	復水タンク給水ライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2											(SA-41)

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画

1.1. クラス2機器漏えい検査 (2/2)

検査用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年 H27年 第21回 サイクル	H28年 H28年 第22回 サイクル	H29年 H29年 第23回 サイクル	H30年 H30年 第24回 サイクル	H31年 H31年 第25回 サイクル		H32年 H32年 第26回 サイクル	H33年 H33年 第27回 サイクル	H34年 H34年 第28回 サイクル	H35年 H35年 第29回 サイクル	H36年 H36年 第30回 サイクル
		原子炉補機冷却海水系統															
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(海水ストレーナ入口)	VT-2	0.7	0.7	VT-2											(SA-46)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(A原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	1.2	1.2	VT-2											(SA-47)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(B原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	0.7	0.7	VT-2											(SA-48)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2											(SA-49)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2											(SA-50)
C7.30 C7.70	C-H	A,B原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2											(SA-51)
		C,D原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2											(SA-52)

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画 (原子炉格納容器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉格納容器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	JSME S MA1-2008		高浜発電所第3号機検査計画 (10か年)												備考			
			維持規格 (2008年版)	検査方法	検査の範囲及び程度	設備検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年		H36年		
E8.10	E-G	機器搬入口圧力保持用ボルト締付け部		VT-4	25%	72	VT-4	25%	18											

## 長期保守管理方針実施状況総括表

### 3号炉 長期保守管理方針実施状況総括表

長期保守管理方針※No.	長期保守管理方針に基づく活動内容			実施時期	第23号炉 保全サイクル 実施計画	進捗状況※※	備考 ( )内は実績を記載
	機器又は系統名	部位と経年劣化事象	活動項目				
1	蒸気発生器	伝熱管の損傷	蒸気発生器の伝熱管の損傷については、蒸気発生器取替を含めた保全方法を検討する。	中長期	-	未実施	蒸気発生器伝熱管については、耐食性に優れた680合金製の伝熱管を有する蒸気発生器に取り替えることを方針策定済み(H22.4)。なお、取替実施時期については検討中。
2	原子炉容器	胴部(炉心領域部)の中性子照射施化	原子炉容器の胴部(炉心領域部)の中性子照射施化については、原子炉の運転時におよび照射量を勘案し、第5回監視試験の実施計画を策定する。	中長期	-	継続実施中	原子炉容器の胴部(炉心領域部)の中性子照射施化については、原子炉の運転時におよび照射量を勘案し、37年計画を策定しており、第24回定期検査において第5回の監視試験片を取り出し、監視試験を実施予定。
3	ドレン系統配管	母管 腐食(流れ加速型腐食)	配管の腐食(流れ加速型腐食)については、肉厚測定による実測データに基づき耐震安全性評価を実施した炭素鋼配管*1については、耐震性が確認できる板厚に到達するまでに、サポート改造等の設備対策を行い、これを反映した耐震安全性評価を実施する。 なお、サポート改造等の設備対策が完了するまでは、減肉傾向の把握およびデータ蓄積を継続して行い、減肉進展の実測データを反映した耐震安全性評価を実施する。	短期		済	(第22号保全サイクルで実施済) ドレン系統配管については、第22回定期検査期間中にサポートの追加工を実施した。また、この工事を反映した耐震安全性評価を実施し、当該系統において必要最小肉厚t <sub>req</sub> までの減肉を想定しても、耐震安全性に影響がないことを確認した。
4	基準地震動による評価が必要な設備	耐震安全上考慮する事象のある経年劣化事象	*1:弾性設計用地震動Sd-2~Sd-7に対する評価を含む。 *2:基準地震動Ss-1に対する評価結果から評価が厳しいと考えられる機器・経年劣化事象等については、基準地震動Ss-2~Ss-7に対する評価を実施し、耐震安全性を確認している。	短期		済	(第21号保全サイクルで実施済) 基準地震動Ss-2~7に対する評価(弾性設計用地震動Sdによる評価を含む)が必要な全ての機器・経年劣化事象については、評価を実施した結果、耐震安全性に問題はないことを確認した。
5	主変圧器	コイル絶縁低下	主変圧器のコイルの絶縁低下については、絶縁紙の寿命評価に基づく取替の要否を判断し、要の場合には実施計画を策定する。	短期	○	未実施	第23回定期検査時に実施予定

※:「高浜発電所原子炉施設保安規定」添付6の長期保守管理方針番号  
 ※※:第23号炉当初での状況を記載

## 保全に関する実施体制



## 保全に関する実施体制

### 1. 高浜発電所の保守管理体制

高浜発電所第3号機の第2・3保全サイクルにおける保守管理体制を下図に示す。

